

**第4期越谷市自治基本条例推進会議の
取り組みについて（報告書）**

**平成30年3月22日
越谷市自治基本条例推進会議**

目 次

1. はじめに	1
2. 自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び 報告事項について.....	2
(1) 指標設定の考え方について	3
(2) 現状分析について	4
①自治基本条例の認知について	
②指標全体について	
3. 市の施策への意見について.....	6
4. むすびに	7
5. 委員名簿	8

1 はじめに

越谷市では、地方分権時代にふさわしい、これからの自治のまちづくりの基本となる「越谷市自治基本条例」が平成21年6月に制定、同年9月から施行されました。

自治基本条例は、市民が主役の住みよい自治のまちづくりを目指し、市民の市政への積極的な参加や、市民と市、市民相互などの協働による「自治の推進」を図るとともに、市の目指すべき方向として「豊かな地域環境の創造」を掲げるなどまちづくりの最高規範として制定されたものです。

一方、本市の社会環境を展望すると、近年の少子高齢化の急速な進展により、社会福祉などの分野において財政負担が増加していることに加え、市民ニーズやライフスタイルの多様化に伴い個別化・複雑化するサービスに行政だけで対応することが困難になってきています。このため、市民が今まで以上に積極的にまちづくりに関わっていく、参加や協働の更なる推進が求められます。

第1期及び第2期の「越谷市自治基本条例推進会議」では、所管事項である自治基本条例の適切な運用に関する事項及び自治基本条例の普及に関する事項について調査審議を行い、平成23年2月には「自治基本条例の実効性を確保するための課題」として報告書を提出し、平成24年1月には「自治基本条例の普及に関する事項について」、平成26年2月には「自治基本条例の適切な運用に関する事項について」答申をしました。

また、第3期の推進会議では、これまでの報告書、答申の内容を踏まえながら、「みんなでつくる 住みよい越谷 自治のまち」の実現を目指し、そのための仕組みづくりや環境整備等について調査審議を行い、平成28年2月には「参加と協働による、市民を主体とした自治のまちづくりを進めるために」として報告書を提出しています。

私たち第4期の委員は、平成28年4月に委嘱され、2年間で計8回開催した会議では、これまでの報告書及び答申の内容を踏まえながら、「自治基本条例の実効性の確保について」をテーマとして調査審議を行ってきました。

このたび、平成28年度、29年度の2か年の取り組みについて「第4期越谷市自治基本条例推進会議の取り組みについて（報告書）」を取りまとめましたので、越谷市自治基本条例推進会議設置条例第2条第2項の規定により提出します。

2 自治基本条例の運用状況を確認するための 指標及び報告事項について

第4期推進会議では、「自治基本条例の実効性の確保について」をテーマに、自治基本条例が適切に運用されているか確認するための指標について協議し、「自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項」【別添1】を作成しました。

「自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項」を作成する経緯としましては、第2期推進会議では、「自治基本条例の適切な運用に関する事項について」、参加、協働、情報共有、市政運営に関する越谷市の主な取り組みを確認する中、自治基本条例の適切な運用についての現況と課題を整理し、適切な運用を図るための方策として「指標」を設定した上で、その進行状況を市民へ公表し、透明性の高い市政運営に加えて、自治基本条例の周知啓発を行うことについて市に答申しています。

この第2期推進会議の答申の内容を受け、第3期推進会議からは指標等に設定すべき項目などについて申し送りがありましたことから、第4期推進会議においては「自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項」を作成することとしました。

「自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項」は、主に参加、協働、情報共有、市政運営の4つの分野ごとにまとめており、それぞれ「指標」と「報告事項」で構成しています。「指標」については自治基本条例が適切に運用されていることが確認できる内容の項目を設定し、経年での推移を見られるよう、直近4年分、平成25年度から平成28年度までの数値を記載しています。

また、数値のみで測ることが難しいと思われる項目については、「報告事項」として取り組みの状況や実績などを文章で表しています。

(1) 指標設定の考え方について

自治基本条例の運用状況を確認するための指標設定の考え方として、まず、各分野の前提となる包括的な項目として「自治基本条例の認知」を冒頭に設定しています。

次に、自治基本条例の基本原則である、参加、協働、情報共有、市政運営の4つの分野毎に設定しています。

参加の分野においては、自治の推進にはまちづくりの主体である市民の自発的な参加が不可欠と考えられることから、参加を測る項目として、「市政に対する意見・要望数」、「審議会等における女性委員の割合」、「越谷市社会福祉協議会ボランティアセンターボランティア登録者数」などを設定しています。

協働の分野においては、多様化する市民ニーズや地域内の様々な課題を解決していくにあたり、市民及び市がそれぞれの役割を認識しながら、互いを尊重し、協力して活動することが必要と考えられることから、協働を測る項目として、「自治会加入世帯数（加入率）」、「自主防災組織率」、「NPO法人数」などを設定しています。

情報共有の分野においては、まちづくりに取り組むうえで必要な市政に関する情報を共有することは、参加と協働によるまちづくりの前提になると考えられることから、情報共有を測る項目として、「広報紙のわかりやすさ」、「Cityメール配信件数」、「越谷市行政資料コーナーの配架件数」などを設定しています。

市政運営の分野においては、まちづくりの根幹となる市政については市民参加を基本に、効率的で透明性が確保されていなくてはならないという考えから、市政運営を測る指標として、「健全化判断比率」、「行政財産の売払実績」、「危機管理マニュアル作成実績」などを設定しています。

このような考え方で指標を整理し、さらに推進会議において協議を行う中で追加・修正を重ね、全体で46指標を設定しました。

(2) 現状分析について

①自治基本条例の認知について

【別添1】の自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項の数値の現状分析の結果として、各分野の前提となる包括的な項目である「自治基本条例の認知」については、毎年度実施している市政世論調査の結果から抜粋しており、平成25年度の認知度が28.8%、平成26年度が33.7%、平成27年度が32.9%、平成28年度が28.3%であり、近年認知度が低下していましたが、平成29年度の調査結果では28.5%となっており、0.2ポイント上昇しました。

平成29年度は若干の上昇に転じましたが、総じて認知度は依然として低く、男女ともに特に若年層における認知度が低いことから、若年層に向けた認知度向上の取り組みが必要となっています。

越谷市では、小学校6年生の社会科の授業における自治基本条例子ども版パンフレットの活用、自治基本条例の啓発を目的とした冊子及び定規の配布、さらに平成28年度からは、市内の高校における講演会の実施を新たに始めるなど、普及・啓発に向けた取り組みを行ってきておりますが、その効果が発現するまでには長期間を要することから、今後も継続的に創意工夫を凝らした取り組みが必要です。

②指標全体について

指標全体では、平成28年度においては、平成27年度と平成26年度の数値を比較したところ、上昇している指標が、42指標（平成27年度未実施の指標は除く）のうち21指標で、割合として50.0%となっています。

また、平成29年度においては、平成28年度と平成27年度の数値を比較したところ、上昇している指標が、41指標（平成28年度未実施の指標は除く）のうち22指標で、割合として53.6%となっています。

特に、参加の分野では「スポーツリーダーバンク活用の割合」、協働の分野では「市民活動支援センター登録団体数」、情報共有の分野では「Cityメール配信件数」、市政運営の分野では「危機管理マニュアル作成実績」の指標で数値が上

昇していますが、全体的には多くの指標で数値が横ばい、さらには「審議会等における女性委員の割合」など、数値が低下している指標もあります。

指標全体の数値を向上させていくためには、まず、市民参加の機会を増やし、市政への関心を深めてもらうことが市民との協働を推進する第一歩であることから、ニーズを的確に捉え、さらに積極的な取り組みを行う必要があります。

また、今後も市は、市民の市政への参加が増えるよう、例えば広報紙を活用したPRや、学校を通じて生徒たちに市政参加の魅力を伝えるなど、周知・啓発の方策などについて検討し、取り組んでいくことが求められます。

そして、行政だけでなく私たち市民も、市政への参加の機会についての情報収集や周囲への情報共有など、まちづくりに積極的に関わる意識を持って行動することが必要です。

3 市の施策への意見について

第4期推進会議では、「自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項」の作成と併せ、指標の数値及び報告事項の取り組みの状況や実績等を確認し、自治基本条例が適切に運用されているか協議を行ってきました。

具体的には、指標についてなぜこのような数値となっていると思うか、といった現状分析や、増加を目指すべき指標であれば、どのような取り組みをすれば伸ばすことができると思うかなどについて意見を出し合い、各取り組み等の課題や、今後どのように改善していくべきか、また、どのようなことに取り組んでいく必要があるかなどについて協議を行ってきました。

その協議の中で出された意見の中でも、特に市の施策に対しての具体的な意見を「市の施策への意見」（平成28年度は【別添2】左側、平成29年度は【別添3】左側）としてまとめ、平成29年度及び平成30年度予算要求時期に合わせ、各担当課へ伝え、各年度に取り組む事業の参考とするよう依頼しました。

また、その後、「市の施策への意見」をどのように各年度の事業に反映したか、「市の施策への意見」に対する考え方などについて各担当課に照会し、提出された回答（平成28年度は【別添2】右側、平成29年度は【別添3】右側）を踏まえ、より改善する必要がある点や、取り組んでいく必要がある点について協議を行ってきました。

4 むすびに

越谷市が自治のまちとして発展していくためには、私たち推進会議委員を含め、市民一人ひとりが越谷市を自分たちのまちとして、さらに良いまちにしたいという思いで市政に積極的に関わることが必要です。また、市民と市がお互いに連携・協力し、共に手を携えながら実際に行動していくことが大切です。

越谷市では、これまでも「参加と協働によるまちづくり」が推進されており、自治会やコミュニティ推進協議会などの地域コミュニティ組織のほか、NPO法人やボランティア団体などの多くの市民活動団体が、越谷市との協働の担い手として積極的に活動しています。しかしながら、人口減少・少子高齢社会の到来や地方分権のさらなる進展など社会経済情勢は大きく変化しており、協働を担う人材の不足や、コミュニティの希薄化など、まちづくりを進めるにあたり課題もあります。

そのような中、私たち第4期推進会議委員は、第1期から第3期にかけての取り組み経過を踏まえ、実効性の確保について審議してまいりました。審議にあたりましては、自治基本条例が適切に運用されているかを一元的に測る指標が必要であると考え、「自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項」を作成し、ブラッシュアップしてまいりました。併せて、指標を基に、「市の施策への意見」として、担当課の取り組みを推進するよう提案してまいりました。

平成21年9月に自治基本条例が施行されて8年が経過しましたが、自治基本条例の目的に規定される「住みよい自治のまちの実現」のためには、一朝一夕にはいかず継続した取り組みが必要です。このたび私たちが作成した指標が自治基本条例の運用を測る全てではありませんが、この指標が、住みよい自治のまちの実現に向けた一つの道しるべとなり、推進会議からの提言が一つでも多く具体化され、越谷市の自治を推進していく取り組みが行われていくことを期待します。

5 越谷市自治基本条例推進会議 委員名簿（第4期）

会長 横家 豪 副会長 駒崎 美佐子

		氏名	ふりがな	備考
公募による市民	1	狩野保弘	かのう やすひろ	
	2	駒崎美佐子	こまさき みさこ	
	3	鋪野久男	しきの ひさお	
	4	立澤貴明	たつざわ たかあき	
	5	得上成子	とくがみ しげこ	
	6	土方敏子	ひじかた としこ	
	7	渕野彩子	ふちの あやこ	
	8	松原千廣	まつばら ちひろ	
コミュニティ組織の推薦する者	9	浅見昭一	あさみ しょういち	越谷市自治会連合会 理事
	10	戸巻正	とまき ただし	越谷市コミュニティ推進協議会 副会長
	11	寺島義人	てらしま よしと	越谷市市民活動支援センター 登録団体推薦者
	12	黒須かおり	くろす かおり	越谷市男女共同参画支援センター 登録団体推薦者
学識経験者	13	多賀谷一照	たがや かずてる	地域研究の専門家 獨協大学法学部国際関係法学科教授
	14	小林昭文	こばやし あきふみ	行政経験者 元埼玉県公立高校教諭 産業能率大学経営学部教授
	15	横家豪	よこや たけし	法律の専門家 弁護士(埼玉弁護士会越谷支部)

自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項

指標

指標名	説明文	H25	H26	H27	H28	自由記入欄	担当課
自治基本条例の認知	市政世論調査で、自治基本条例を「知っている」、「聞いたことがある」と答えた人の割合	28.8%	33.7%	32.9%	28.3%	※詳細は【別紙1】参照	政策課

参加
指標

指標名	説明文	H25	H26	H27	H28	自由記入欄	担当課
市政に対する意見・要望数	市長への手紙、ファクス、電子メール、来訪、電話等の数	928件	798件	1097件	919件	※詳細は【別紙2】参照	広報広聴課
市長とふれあいミーティングの参加者数	市長が直接市民の皆様から市政に対する意見や提言をいただき、行政と市民とが相互理解を深めながら協働のまちづくりを進めることを目的として開催している「市長とふれあいミーティング」の参加者数	88人	151人	122人	56人	平成27年度から「市長とふれあいミーティング」と「市長のふれあい訪問」を統合（平成25、26年度の参加者数は合算）	広報広聴課
審議会等における女性委員の割合	法律、条例に基づく審議会等における女性委員の割合	28.80%	29.30%	28.20%	27.50%	各年度4月1日現在	人権・男女共同参画推進課
市民活動支援センター人材バンク登録者数	“市民活動に関する豊かな知識や経験等を社会に役立てたい”と思っている方と、それを必要としている方とをつなげる仕組みである「人材バンク」に登録されている人数	—	18人	18人	19人	制度開始が平成26年度より	市民活動支援課
越谷市社会福祉協議会ボランティアセンターボランティア登録者数	越谷市社会福祉協議会にボランティアとして登録されている人数	計	計	計	計		福祉推進課
		1,390人	1,385人	1,414人	1,473人		
		福祉 1,314人	福祉 1,305人	福祉 1,323人	福祉 1,382人		
	災害 76人	災害 80人	災害 91人	災害 91人			
越谷市社会福祉協議会ボランティア活動保険加入者数	全国社会福祉協議会が運営しているボランティア活動保険への加入者数	1,796人	1,814人	1,770人	1,600人		福祉推進課
生涯学習リーダーバンク登録者数	市内外で活動している生涯学習に関する講師・指導者をまとめた「越谷市生涯学習リーダーバンク」に登録されている人数	221人	—	213人	—	2年に1度（奇数年度）「生涯学習クラブ・サークル・団体ガイド」と交互に調査し冊子を発行している。	生涯学習課
スポーツリーダーバンク活用の割合	派遣数/県・市のスポーツリーダーバンク登録者数	31%	29%	37%	45%		スポーツ振興課
防災訓練の参加者数	自主防災組織や自治会において、実施した防災訓練の参加者人数	22,286人	19,766人	18,361人	19,074人	開催回数 H25：117回 H26：130回 H27：124回 H28：124回	危機管理課
消防訓練の参加者数	自治会等で実施した消防訓練の回数及び訓練参加人員	10,168人	12,541人	10,900人	11,089人	開催回数 H25：83回 H26：94回 H27：87回 H28：84回	消防本部予防課

越谷市議会議員選挙 投票率	平成27年4月26日執行 の越谷市議会議員選挙の投票率	—	—	38.99%	—	—	選挙管理委員会
越谷市長選挙 投票率	平成25年10月27日執行 の越谷市長選挙の投票率	31.73%	—	—	—	—	選挙管理委員会

報告事項

報告事項	担当課
<p>市政移動教室、市長とふれあいミーティング等の実施状況</p> <p>【市政移動教室】 市政についての理解と関心を深めていただくため、市民の皆様には公共施設や史跡などを見学してもらう「市政移動教室」を実施しています。 平成28年度は宮内庁埼玉鴨場や埼玉県立大学などを見学先として実施しました。 個人を対象に5回開催し、136名の参加がありました。年代としては40代～80代の方に多くご参加をいただきました。 また、団体を対象として8回開催しました。参加団体としては、自治会やPTAなどに参加いただきました。</p> <p>【市長とふれあいミーティング】 市長が直接市民から市政に対するご意見やご提言をいただく中で、行政と市民とが相互理解を深めながら協働のまちづくりを進めるため、市長とふれあいミーティングを開催しています。 平成27年度から「市長とふれあいミーティング」と「市長のふれあい訪問」を統合しました。 平成28年度は、申込みがあった団体へ伺って懇談する訪問のミーティングを7回開催しました。</p>	広報広聴課
<p>パブリックコメント（意見公募手続）の実施状況</p> <p>自治基本条例第26条に基づき、越谷市意見公募手続に関する要綱を定め、重要な計画等の策定にあたっては、あらかじめ計画案等を公表し、市民の皆さんから意見を募り、市の考え方を公表しています。 平成28年度は、9件の意見募集を行い、69件のご意見をいただきました。</p>	広報広聴課
<p>審議会等への公募委員の参加状況</p> <p>審議会の委員の選任については、越谷市審議会等の設置及び運用に関する要綱(平成12年6月1日施行)において、可能な限り公募枠を確保することとし、公募委員の割合を委員定数のおおむね20パーセント以上とするよう配慮することを規定しています。 また、本市の審議会等の運用状況や活動状況を広く市民に情報提供し、より多くの市民に審議会等に参加していただけるよう、平成26年度から毎年度「審議会等ガイドブック」を発行し、さらなる市政への市民参加の向上に取り組んでいます。</p> <p>【公募を実施している審議会等の数】（各年度4月1日） 平成25年度：26審議会等（要綱対象の審議会等の数…63審議会等） 平成26年度：27審議会等（要綱対象の審議会等の数…62審議会等） 平成27年度：26審議会等（要綱対象の審議会等の数…70審議会等） 平成28年度：26審議会等（要綱対象の審議会等の数…71審議会等）</p>	行政管理課

協働
指標

指標名	説明文	H25	H26	H27	H28	自由記入欄	担当課
自治会加入世帯数 (加入率)	自治会に加入している世帯数及び、市内全世帯数のうち、自治会に加入している世帯数の割合	69.5%	68.7%	67.9%	66.8%		市民活動支援課
地区まちづくり 助成金活用事業数	地区まちづくり助成金を活用して実施された事業の分野ごと（地域コミュニティ全般、健康、福祉、社会教育・文化・芸術等、スポーツ、環境保全・美化、防犯・防災、子育て・子どもの健全育成）の事業数	地域コミュニティ全般	地域コミュニティ全般	地域コミュニティ全般	地域コミュニティ全般		市民活動支援課
		87事業	86事業	91事業	93事業		
		健康	健康	健康	健康		
		6事業	6事業	6事業	6事業		
		福祉	福祉	福祉	福祉		
		11事業	12事業	13事業	13事業		
		社会教育・文化・芸術等	社会教育・文化・芸術等	社会教育・文化・芸術等	社会教育・文化・芸術等		
		33事業	34事業	37事業	37事業		
スポーツ	スポーツ	スポーツ	スポーツ				
190事業	190事業	188事業	188事業				
環境保全・美化	環境保全・美化	環境保全・美化	環境保全・美化				
42事業	39事業	39事業	40事業				
防犯・防災	防犯・防災	防犯・防災	防犯・防災				
22事業	23事業	24事業	19事業				
子育て・子どもの健全育成	子育て・子どもの健全育成	子育て・子どもの健全育成	子育て・子どもの健全育成				
9事業	9事業	7事業	7事業				
市民活動支援センター登録団体数	市民活動支援センターに団体登録をしている団体の数	100団体	117団体	130団体	144団体		市民活動支援課
男女共同参画支援センター登録団体数	男女共同参画支援センターに団体登録をしている団体の数	51団体	53団体	51団体	50団体		人権・男女共同参画推進課
市民活動支援センター事業実績	市民活動支援センターが実施した事業の回数	109回 (うち自主事業24回)	131回 (うち自主事業34回)	148回 (うち自主事業40回)	145回 (うち自主事業22回)		市民活動支援課
男女共同参画支援センター事業実績	男女共同参画支援センターが実施した事業の回数	186回 (うち自主事業50回)	221回 (うち自主事業92回)	216回 (うち自主事業100回)	230回 (うち自主事業86回)		人権・男女共同参画推進課

【別添1】

NPO法人数	市民活動団体が会則を定め、代表者や役員をおき、着実な活動を行うことで実績を出し、法人格を持つ団体となる数	67団体	72団体	71団体	74団体		市民活動支援課
自主防災組織率	全世帯数のうち自主防災組織が組織されている地域の世帯数の割合	88.3%	89.6%	90.0%	90.1%		危機管理課
地域レベルで実施するネットワーク会議への参加者数	高齢者の総合的支援等を行う地域包括支援センターにおいて、地域課題を検討するネットワーク会議への延べ参加者数	1,210人	1,429人	1,250人	1,216人		地域包括ケア推進課
ふれあいサロン等開催回数	地域の身近な場所で、住民の方が自主的・主体的に活動を行う「ふれあいサロン」等の開催回数 一人暮らしなどの高齢者の交流等を図り、生きがいつくりの場になっている	1,051回 (延べ回数)	1,073回 (延べ回数)	1,154回 (延べ回数)	1,236回 (延べ回数)	「ふれあいサロン」以外の開催回数も含む	福祉推進課
子育てサロン開催回数	NPO等の協力を得て、子育ての悩み相談や親子の交流の場として開催している「子育てサロン」の回数	1,654回	1,520回	1,656回	1,639回	【参加者総数】 H25 63,361人 H26 64,672人 H27 62,101人 H28 59,726人	子育て支援課
放課後子ども教室開催回数	学校・家庭・地域が連携・協働し、地域に子どもが安全・安心に活動のできる居場所をつくるため実施している「放課後子ども教室」の開催回数	330回	340回	351回	381回	【参加者総数】 H25 延べ10,161人 H26 延べ10,129人 H27 延べ10,392人 H28 延べ11,027人	青少年課

報告事項	担当課								
<p>地区コミュニティ推進協議会等が実施した事業の例</p> <p>【地区コミュニティ推進協議会】 地区コミュニティ推進協議会は、居住地域における住民間、住民と行政との関わりを考える組織として地区内の諸問題・諸課題を地区住民相互に話し合い解決を図るため、平成5年から順次設立された組織です。市内に13あるコミュニティ区域ごとに設置されています。地域の特性を踏まえた団体やコミュニティづくりに関心のある市民で構成されています。</p> <p>地区コミ協が地区まちづくり推進計画にのっとりコミュニティ事業を行うために、市から「地区まちづくり助成金」が交付されています。平成28年度は、地区まちづくり事業191件、スポーツ・レクリエーション推進事業188件、生涯学習推進事業24件の実施があり、各地区で活発なまちづくりの推進に取り組んでいます。</p> <p>※主な事業は【別紙3】参照</p>	市民活動支援課								
<p>市民活動支援センターの事業実施状況</p> <p>【市民活動支援センター】 市民活動支援センターは、市民に市民活動の場を提供し、支援センターの実施するさまざまな事業などを通じて、市民活動の活性化や活動団体の支援や育成を目的にしている施設です。</p> <p>平成28年度は、4,100名の市民の方々に参加いただいた「センターまつり」や「出番です！わがまちNPO」、「問題解決窓口」などの事業を実施し、自主事業22事業を含む、145事業を実施いたしました。また、登録団体も順調に増加しており、平成28年度には、144団体となっております。</p>	市民活動支援課								
<p>男女共同参画支援センターの事業実施状況</p> <p>【男女共同参画支援センター】 男女共同参画支援センターは、越谷市の男女共同参画を推進するための拠点施設として、女性と男性がともに性別にとらわれることなく、生きる権利を尊重し合い、豊かで活力のある社会を実現するために、市の男女共同参画に関する実施計画にもとづくさまざまな事業を展開しています。</p> <p>平成28年度は、自主事業15事業（開催：86回）、他課・他機関との共催・協働事業7事業（開催：103回）を含む40事業（開催：230回）について、8,421人の方に事業に参加していただきました。</p> <p>「育児休業取得中の女性のための職場復帰準備講座（連続3回）」は、市民からの要望に応え、年に2回開催しました。また、平成28年度より新たに計画に位置づけられた「性の多様性の理解促進に関する講座」、「防災活動における男女共同参画啓発の取り組み」では、幅広い年代の方が定員を超えた参加となりました。また、ほっと越谷登録団体と協働で開催した七夕フェスタには、約5,600人が参加しました。</p>	人権・男女共同参画推進課								
<p>協働フェスタの実施状況</p> <p>【協働フェスタ】 協働フェスタは、市民活動団体、ボランティア団体、行政、企業等、様々な団体や機関が参加し、団体相互の理解と連携を深め、参加者や見学者に協働のまちづくりを知っていただき、協働のまちづくりに参加するきっかけづくりを目的とした事業です。市民による実行委員会が企画運営し、平成20年度から実施しています。</p> <p>平成28年度の第9回協働フェスタには、81団体が参加し、参加団体による展示・演出・体験・模擬店やスタンプラリー、おおきなお世話なべなどの事業を実施し、4,000名の市民の方に来場いただきました。</p>	市民活動支援課								
<p>越谷しらこぼと基金の活用状況</p> <p>【越谷しらこぼと基金助成金】 越谷しらこぼと基金は、平成元年に越谷市を愛し応援しようとする個人又は団体からの寄附金を活用し、設置されました。</p> <p>この基金の運用益などを活用し、快適で活力ある魅力的なふるさとづくりに資する活動に対して助成金を交付しています。</p> <p>平成28年度では、市民活動事業14件、スポーツ顕彰事業19件に対して助成を行いました。</p> <p>※助成事業は【別紙4】参照</p>	市民活動支援課								
<p>NPOへの委託事業、共催事業等の実施状況</p> <p>【NPO等との協働事業について】 NPO等との協働とは、「地域の課題や市民のニーズに対応していくため、NPO等（市民活動団体含む）と行政とが、共通する目的の実現に向けて、対等な立場で協力・連携すること」としています。</p> <p>平成28年度は、団体への事業委託・事業共催・事業協力および団体への補助を協働事業とし、あわせて126件の実施がありました。</p> <p>【NPOと市の共催事業数（【別紙5】参照）】</p> <table border="1" data-bbox="71 1823 359 1935"> <tr> <td>平成25年度：</td> <td>77回</td> </tr> <tr> <td>平成26年度：</td> <td>88回</td> </tr> <tr> <td>平成27年度：</td> <td>113回</td> </tr> <tr> <td>平成28年度：</td> <td>126回</td> </tr> </table>	平成25年度：	77回	平成26年度：	88回	平成27年度：	113回	平成28年度：	126回	市民活動支援課
平成25年度：	77回								
平成26年度：	88回								
平成27年度：	113回								
平成28年度：	126回								

情報共有

指標

指標名	説明文	H25	H26	H27	H28	自由記入欄	担当課
広報紙のわかりやすさ	市政世論調査の広報についての調査項目において「分かりやすい」又は「おおむね分かりやすい」と回答した人の割合	68.8%	71.0%	69.4%	75.1%		広報広聴課
テレビ広報番組放送視聴率	「いきいき越谷」の視聴率	12.60%	12.70%	21.33%	10.00%	・無作為で150世帯を抽出し、郵送した調査票の回答結果を視聴率としている。（「いきいき越谷」を見たと答えた件数÷150×100＝視聴率） ・各年度末（3月）調べ	広報広聴課
ホームページアクセス件数	越谷市公式ホームページへのアクセス件数（月平均）	955,866件/月	1,029,596件/月	1,231,922件/月	1,202,026件/月		広報広聴課
cityメール配信件数	cityメールの分類ごと（災害・防犯・防災行政無線、健康・医療、市政情報・お知らせ、イベント案内、子育て）の配信件数	災害・防犯・防災行政無線 146件 健康・医療 69件 市政情報・お知らせ 26件 イベント案内 93件 子育て 26件	災害・防犯・防災行政無線 168件 健康・医療 76件 市政情報・お知らせ 29件 イベント案内 130件 子育て 27件	災害・防犯・防災行政無線 187件 健康・医療 84件 市政情報・お知らせ 52件 イベント案内 212件 子育て 32件	災害・防犯・防災行政無線 221件 健康・医療 109件 市政情報・お知らせ 35件 イベント案内 328件 子育て 55件		広報広聴課
cityメール登録者数	cityメールの分類ごと（災害・防犯・防災行政無線、健康・医療、市政情報・お知らせ、イベント案内、子育て）の登録者数	災害・防犯・防災行政無線 21,131人 健康・医療 11,485人 市政情報・お知らせ 9,368人 イベント案内 9,823人 子育て 8,987人	災害・防犯・防災行政無線 24,102人 健康・医療 12,642人 市政情報・お知らせ 10,591人 イベント案内 11,300人 子育て 10,414人	災害・防犯・防災行政無線 27,554人 健康・医療 14,197人 市政情報・お知らせ 12,170人 イベント案内 12,949人 子育て 12,280人	災害・防犯・防災行政無線 30,155人 健康・医療 15,436人 市政情報・お知らせ 13,454人 イベント案内 14,290人 子育て 13,355人		広報広聴課
情報公開制度の運用状況	公開請求件数及び処理状況	142件	150件	139件	66件		総務課
個人情報保護制度の運用状況	開示請求件数及び処理状況	23件	67件	28件	31件		総務課
会議等が公開とされた審議会等の数	要綱対象の審議会等のうち、会議等を公開することが決定された数	43審議会等 （63審議会等中）	43審議会等 （62審議会等中）	39審議会等 （70審議会等中）	45審議会等 （71審議会等中）	各年度4月1日時点で公開決定がされた数を記載。 未決定の審議会等の数 H25：2審議会等 H26：1審議会等 H27：11審議会等 H28：3審議会等	行政管理課

【別添1】

審議会等の傍聴者数	公開とされた審議会等の傍聴者数	44人	54人	49人	38人	公開とされた審議会等の会議開催回数（延べ） H25：95回 H26：86回 H27：97回 H28：58回	総務課
市議会の傍聴者数	越谷市議会の本会議及び委員会の傍聴者数	348人	219人	382人	305人	H25 本会議：226人 H25 委員会：122人 H26 本会議：165人 H26 委員会：54人 H27 本会議：281人 H27 委員会：101人 H28 本会議：221人 H28 委員会：84人	議事課
越谷市行政資料コーナーの配架資料数	行政資料コーナー（市役所内）に、市が発行しているものを中心として、各種の統計資料や計画書・報告書などを配架している数	357件	358件	397件	417件		総務課
議会ホームページアクセス件数	—	25,770回	25,877回	30,475回	25,188回		議事課
議会中継のアクセス件数	—	6,165件	8,194件	10,708件	13,983件	【H25】 ライブ中継 2,759件 録画中継 3,406件 【H26】 ライブ中継 2,747件 録画中継 5,447件 【H27】 ライブ中継 4,621件 録画中継 6,087件 【H28】 ライブ中継 5,976件 録画中継 8,007件	議事課
議会だよりの発行状況	—	4回	4回	5回	4回	H27は改選期により新議員紹介のため、臨時号を発行。	議事課
社協だよりの発行状況	—	6回	6回	6回	6回		福祉推進課

報告事項	担当課
<p>越谷市の情報発信（広報こしがや、ツイッター、cityメール等）の実施状況</p> <p>【広報こしがや】 ・お知らせ版：主な記事は【別紙6】参照 ・季刊版：主な記事は【別紙7】参照</p> <p>【いきいき越谷】 市の新たな事業や地域での取り組み、各種イベント、公共施設の紹介などを映像や関係者へのインタビュー、レポーターによる現地取材を交えたニュース番組を作成しています。 平成28年度は12本（月1本）制作し、テレビ埼玉（月2回、年間24回）、J:COM越谷（月14回、年間168回）の放送のほか、市ホームページ、YouTubeで配信を行いました。 ※主な放送内容は【別紙8】参照（平成29年度越谷市の広報広聴抜粋）</p> <p>【ツイッター】 ICT（情報通信技術）を活用した情報伝達手段の拡充を図り、本市の情報発信力を高めることを目的に平成24年2月10日から運用を開始しました。</p> <p>【cityメール】 平成20年2月からサービスを開始しました。メール配信を希望する方があらかじめメールアドレスと配信分類を登録しておく必要があります。情報料無料。通信料は利用者負担。</p> <p>【LINE@】 平成28年3月からサービスを開始しました。配信を希望する方は、あらかじめ友だち登録をしておく必要があります。</p>	広報広聴課
<p>市民活動支援センターでの情報発信の実施状況（「ななサボ」の発行実績含む）</p> <p>市民活動支援センターは、市民活動団体等を支援する施設機能だけでなく、観光・物産情報コーナーや中央図書室を擁した複合施設です。 市民活動支援センターの情報発信方法としては、登録団体の基本情報やイベントの最新情報などを掲載しているホームページを開設しております。 また、登録団体の活動状況や観光・物産情報、新着図書情報などを掲載した機関紙「ななサボ」を年3回発行し、自治会を通じて全戸回覧しており、月刊の機関紙として「かけはし」、「とびら」を発行し、各月毎の講座やイベント情報などの情報を発信しております。 さらに、「広報こしがや」や「Cityメール」などを活用し、市民活動支援センターの各種事業等の情報を広く周知しております。</p>	市民活動支援課
<p>男女共同参画支援センターでの情報発信の実施状況（「みてみてほっと越谷」の発行実績含む）</p> <p>【情報誌の発行】 年2回（7月、2月）発行の情報誌「みてみてほっと越谷」は市民の皆様に親しみやすい誌面をめざし、身近な問題の特集するなど工夫しています。平成28年度は第39号「言わなきゃ暮らしは変わらない」（13,000部）、第40号「多様な性を知る～“LGBT”ってなに？」（13,000部）を特集して発行しました。</p> <p>【ブックサロン企画委員との協働事業】 市民の皆様に男女共同参画への理解を深めてもらうことを目的に、市民企画員と協働で、「読書の河から砂金を探せ」をテーマに男女共同参画支援センターの本の紹介と意見交換をしました。</p> <p>【パネル展】 男女共同参画をわかりやすく情報提供するために、男女共同参画支援センターと市役所ロビーで、7つのテーマを選び、パネル展示をしました。</p> <p>【イベント情報誌季刊版の発行】 年4回発行で3か月ごとのイベント情報をコンパクトな誌面にして掲載し、市内の店舗に置いてもらい、市民に気軽に手に取ってもらえるように工夫しました。</p> <p>【ホームページ及びメールマガジンの運営】 ホームページで男女共同参画支援センターの主催講座、登録団体のイベント紹介などの情報発信とともに、講座報告も掲載し、講座に参加しなかった方への情報提供もしました。また、講座申し込みもホームページで受け付けています。</p>	人権・男女共同参画推進課

市政運営
指標

指標名	説明文	H25	H26	H27	H28	自由記入欄	担当課
健全化判断比率	実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率	実質赤字比率	実質赤字比率	実質赤字比率	実質赤字比率	※「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」については、黒字の場合は「赤字なし」と表示しています。 ※越谷市公式ホームページ「市政・市民参加＞予算・決算＞決算＞決算のあらましと健全化判断比率」に各指標について詳しく掲載しています。	財政課
		赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし		
		連結実質赤字比率	連結実質赤字比率	連結実質赤字比率	連結実質赤字比率		
		赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし		
		実質公債費比率	実質公債費比率	実質公債費比率	実質公債費比率		
9.7%	9.0%	8.2%	7.6%				
将来負担比率	将来負担比率	将来負担比率	将来負担比率	将来負担比率	将来負担比率	将来負担比率	将来負担比率
74.4%	65.9%	58.1%	49.9%				
外部評価実施事業数	市の事業のうち外部評価を実施した事業の数	32事業	22事業	20事業	—	28年度は不実施	行政管理課
行政財産の貸付実績	行政財産の土地・建物の余剰スペースを活用した貸付の件数、金額	27件 7,264千円	36件 15,099千円	41件 21,921千円	37件 20,951千円		公共施設マネジメント推進課
行政財産の売払実績	—	10件 219,095千円	9件 50,652千円	10件 279,161千円	18件 199,139千円		公共施設マネジメント推進課
危機管理マニュアル作成実績	危機管理マニュアルの作成課所数、作成事案数	63課 93事案	63課 95事案	62課 95事案	64課 97事案		危機管理課

【別添1】

消防団員数	分団ごとの消防団員数	団本部 27(23)人	団本部 28(24)人	団本部 4人	団本部 4人	各年度4月1日現在 平成25年度及び平 成26年度の団本部内 の括弧書き数は女性消 防団員数(内数)を表 す。 平成27年4月1日 付で団本部付であった 女性消防団員で構成さ れた分団「さくら分 団」が発足する。	消防本部警防 課
		越ヶ谷 17人	越ヶ谷 18人	越ヶ谷 15人	越ヶ谷 18人		
		大沢 22人	大沢 20人	大沢 21人	大沢 19人		
		桜井 48人	桜井 50人	桜井 49人	桜井 53人		
		大袋 37人	大袋 33人	大袋 31人	大袋 34人		
		荻島 28人	荻島 27人	荻島 26人	荻島 25人		
		出羽 44人	出羽 44人	出羽 43人	出羽 41人		
		蒲生 32人	蒲生 31人	蒲生 31人	蒲生 28人		
		川柳 17人	川柳 17人	川柳 17人	川柳 18人		
		大相模 39人	大相模 37人	大相模 39人	大相模 38人		
		増林 62人	増林 60人	増林 61人	増林 62人		
		新方 27人	新方 27人	新方 26人	新方 26人		
				さくら (女性団 員) 23人	さくら (女性団 員) 24人		

報告事項	担当課
<p>包括外部監査の実施状況</p> <p>平成28年度は、「越谷市立病院の財務事務の執行及び事業の管理について」をテーマに、市立病院の現状やこれまでの中期経営計画に対する取組の結果等について監査が行われ、本年2月に監査人から監査結果報告書の提出がありました。</p> <p>監査の結果、本市の指定管理者制度の運用状況等について、是正・改善を求めるものとして「監査結果」16項目、「意見」20項目、合計36項目の指摘を受けました。</p>	行政管理課
<p>行政改革の実施状況</p> <p>本市では、今後も厳しい財政環境が見込まれる中で、第4次総合振興計画の着実な推進を図り、市民満足度の高いまちづくりを進めるため、平成28年度から平成32年度までを計画期間とする第6次行政改革に取り組んでいます。</p> <p>第6次行政改革では、「事務事業の徹底改革」をはじめ、「組織力の強化」など、大綱で掲げる推進事項に基づき、27項目の取組を実施計画に位置付けています。</p>	行政管理課
<p>行政評価（事務事業評価）の実施状況</p> <p>本市の行政評価制度は、行政運営の中に計画(PLAN)→実施(DO)→検証(CHECK)→改革改善(ACTION)のマネジメント・サイクルによる継続的な改革改善の仕組みを取り入れることにより、ヒト・モノ・カネ・情報という経営資源の最適配分を図り、計画に位置付けられた施策を総合的・計画的・効果的に推進していくことを目的としています。</p> <p>平成28年度行政評価実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前評価実施事業：82事業 ・事後評価実施事業：59事業 ・外部評価実施事業：不実施 <p>事前評価：新たに予算要求しようとする事業及び継続事業で拡充・増額して予算要求しようとする事業を対象 事後評価：前年度の内部評価とこれまでの外部評価の結果、事業内容の整理や見直しが特に必要と思われる事業を対象 外部評価：事後評価を行った事業のうち、所定の基準から選定した事業を対象（外部の専門家が評価） ※平成28年度から外部評価を隔年で実施</p>	行政管理課

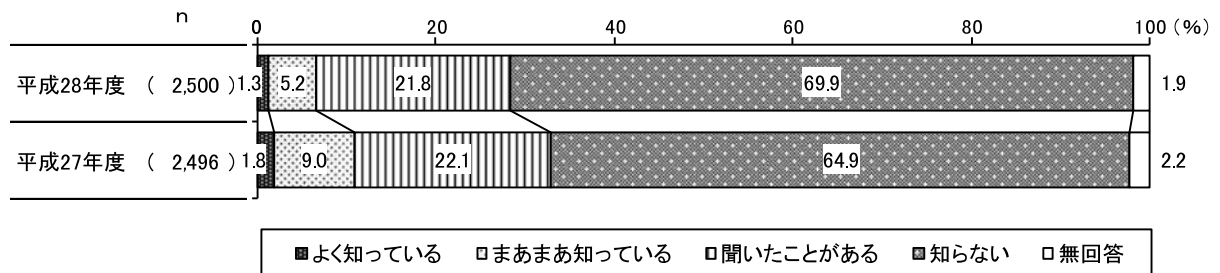
1 4. 自治基本条例について

(1) 「越谷市自治基本条例」の認知

◇ 『知っている』は1割未満

問 45. 市民参加と協働のまちづくりに必要なルールなどが書かれている、「越谷市自治基本条例」を知っていますか。(〇は1つ)

図表 14-1-1 「越谷市自治基本条例」の認知



「越谷市自治基本条例」の認知については、「よく知っている」(1.3%)と「まあまあ知っている」(5.2%)を合わせた『知っている』(6.5%)は1割に満たない結果となっている。一方、「知らない」(69.9%)は約7割となっている。

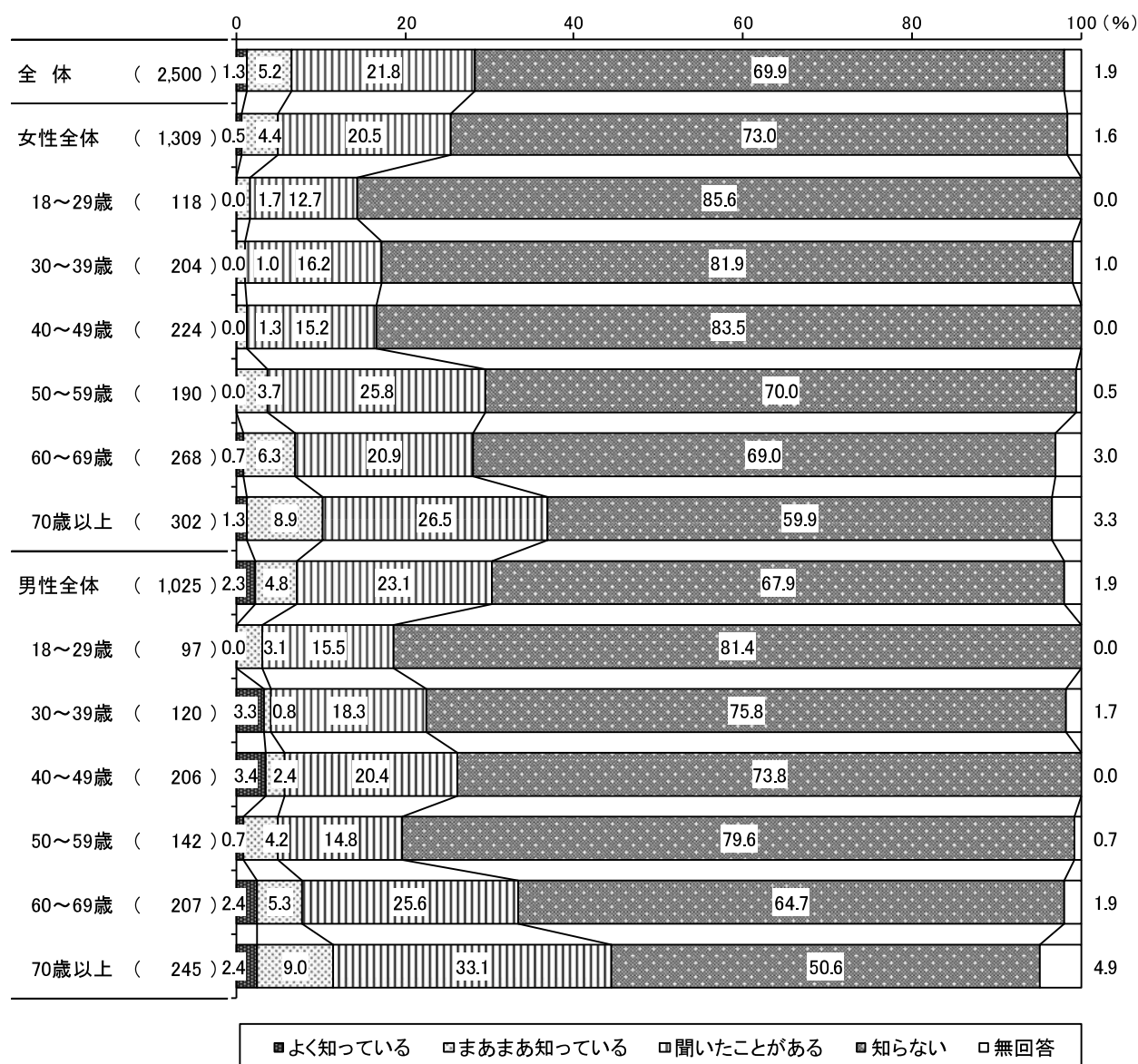
※ 経年比較については、前回調査と質問の仕方が異なるため記述しない。

平成 27 年度質問：越谷市では、平成 21 年に「自治基本条例」を制定し、参加と協働によるまちづくりに取り組んでいます。あなたはそのことを知っていますか。

性別で見ると、『知っている』は男性（7.1%）が女性（4.9%）より2.2ポイント高く、一方、「知らない」は女性（73.0%）が男性（67.9%）より5.1ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、「よく知っている」は男性40～49歳（3.4%）、男性30～39歳（3.3%）でやや多く、「まあまあ知っている」は男性70歳以上（9.0%）、女性70歳以上（8.9%）で約1割となっている。一方、「知らない」は女性18～29歳（85.6%）、女性40～49歳（83.5%）、女性30～39歳（81.9%）、男性18～29歳（81.4%）で8割以上と多くなっている。

図表 14-1-2 性・年齢別 「越谷市自治基本条例」の認知

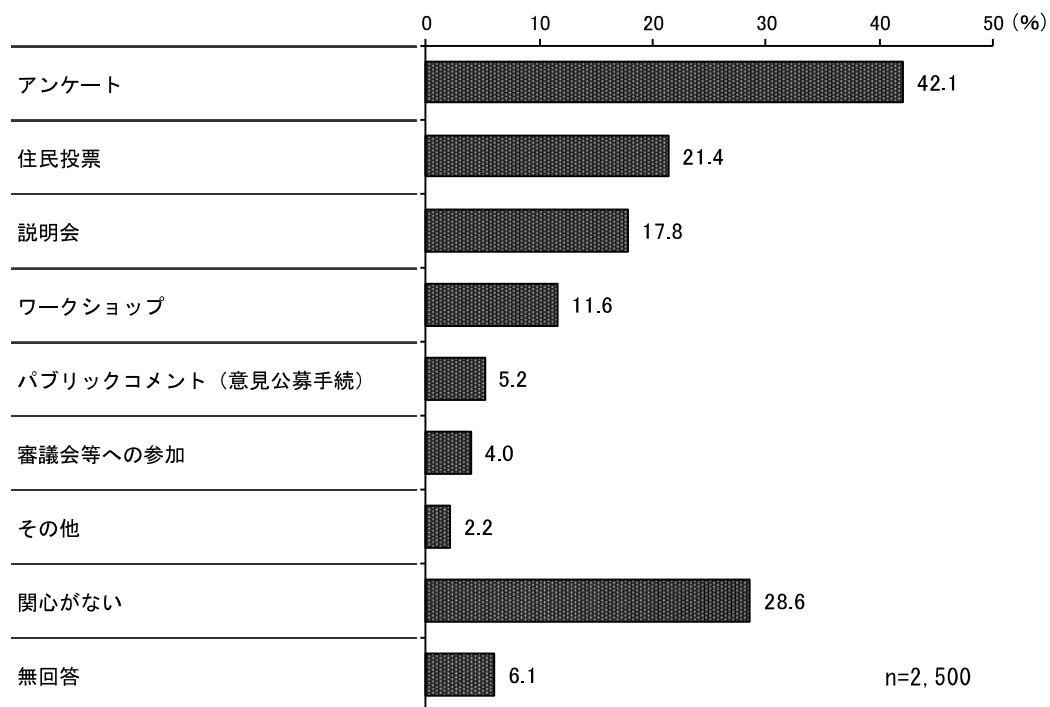


(2) 関心のある市政に参加する方法

◇「アンケート」が最も多く、4割強

問46. 関心のある市政に参加する方法を教えてください。(複数回答可)

図表 14-2-1 関心のある市政に参加する方法



関心のある市政に参加する方法については、「アンケート」(42.1%)が最も多く、次いで、「住民投票」(21.4%)、「説明会」(17.8%)、「ワークショップ」(11.6%)、「パブリックコメント(意見公募手続)」(5.2%)の順となっている。また、「その他」として「議員経由で直接意見具申」「在宅でできる方法」等が挙げられた。

性別でみると、「説明会」は男性（21.3%）が女性（14.7%）より6.6ポイント、「住民投票」は男性（24.4%）が女性（19.4%）より5.0ポイントそれぞれ高く、「ワークショップ」は女性（14.1%）が男性（9.9%）より4.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「住民投票」は男性40～49歳（38.3%）で4割弱と多く、「説明会」は男性70歳以上（29.0%）で約3割と多くなっている。一方、「関心がない」は女性18～29歳（43.2%）、男性30～39歳（40.0%）で4割以上と多くなっている。

図表14-2-2 性・年齢別 関心のある市政に参加する方法

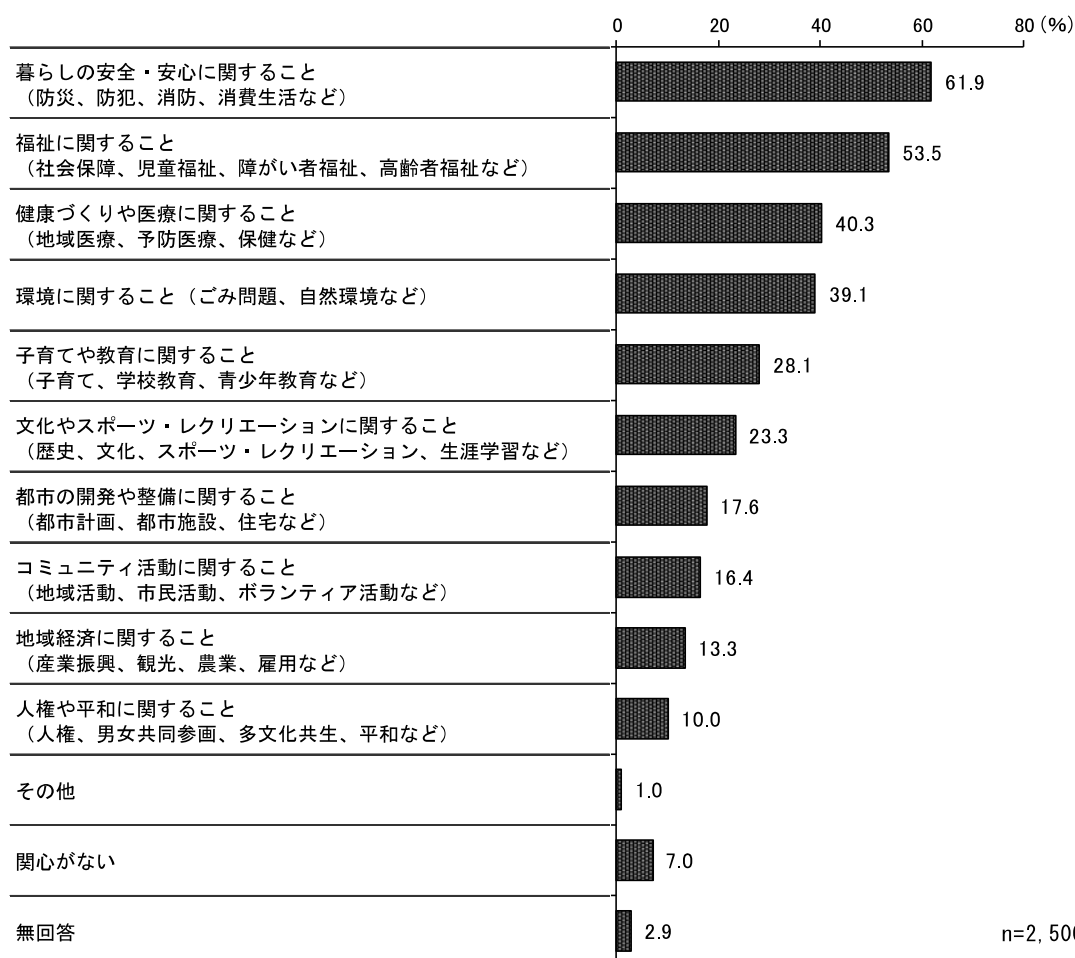
	調査数（人）	アンケート	住民投票	説明会	ワークショップ	パブリックコメント （意見公募手続）	審議会等への参加	その他	関心がない	無回答
全 体	2,500	42.1	21.4	17.8	11.6	5.2	4.0	2.2	28.6	6.1
女性全体	1,309	42.9	19.4	14.7	14.1	4.1	3.1	2.0	29.0	6.5
18～29歳	118	35.6	18.6	4.2	19.5	4.2	-	1.7	43.2	2.5
30～39歳	204	47.5	27.5	9.3	23.5	7.8	1.5	0.5	31.9	0.5
40～49歳	224	41.5	24.6	12.9	14.7	5.8	2.7	2.7	29.0	4.0
50～59歳	190	48.9	21.1	15.3	16.8	5.8	5.3	3.7	21.6	2.6
60～69歳	268	47.8	15.7	18.7	10.4	2.2	1.9	1.5	25.0	6.7
70歳以上	302	35.1	12.9	19.9	7.0	1.0	5.6	2.0	30.1	16.2
男性全体	1,025	42.4	24.4	21.3	9.9	6.5	5.5	1.9	28.5	4.1
18～29歳	97	36.1	29.9	15.5	15.5	8.2	3.1	1.0	37.1	-
30～39歳	120	34.2	26.7	14.2	11.7	4.2	3.3	1.7	40.0	2.5
40～49歳	206	41.3	38.3	13.6	9.2	9.7	3.9	1.9	26.2	1.0
50～59歳	142	43.0	24.6	20.4	9.9	4.9	5.6	2.8	32.4	1.4
60～69歳	207	46.4	17.4	26.6	10.1	8.7	9.2	2.4	24.6	5.3
70歳以上	245	45.7	14.7	29.0	6.9	2.9	5.3	1.2	22.9	9.8

(3) 関心のあるまちづくりの分野

◇「暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）」が最も多く、約6割

問 47. 関心のあるまちづくりの分野を教えてください。(複数回答可)

図表 14-3-1 関心のあるまちづくりの分野



関心のあるまちづくりの分野については、「暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）」(61.9%) が最も多く、次いで、「福祉に関すること（社会保障、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など）」(53.5%)、「健康づくりや医療に関すること（地域医療、予防医療、保健など）」(40.3%)、「環境に関すること（ごみ問題、自然環境など）」(39.1%)、「子育てや教育に関すること（子育て、学校教育、青少年教育など）」(28.1%) の順となっている。また、「その他」として「水害対策」「動物殺処分ゼロの行政」等が挙げられた。

性別でみると、「福祉に関すること（社会保障、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など）」は女性（57.6%）が男性（48.2%）より9.4ポイント、「子育てや教育に関すること（子育て、学校教育、青少年教育など）」は女性（32.0%）が男性（25.2%）より6.8ポイントそれぞれ高く、一方、「都市の開発や整備に関すること（都市計画、都市施設、住宅など）」は男性（21.8%）が女性（14.5%）より7.3ポイント、「文化やスポーツ・レクリエーションに関すること（歴史、文化、スポーツ・レクリエーション、生涯学習など）」は男性（27.5%）が女性（20.8%）より6.7ポイントそれぞれ高くなっている。

性・年齢別でみると、「暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）」は男性70歳以上（71.8%）、女性50～59歳（70.5%）で約7割と多くなっている。また、「福祉に関すること（社会保障、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など）」は女性50～59歳（67.4%）、女性60～69歳（66.8%）で6割半ば以上、「子育てや教育に関すること（子育て、学校教育、青少年教育など）」は女性30～39歳（67.2%）、女性18～29歳（60.2%）で6割以上と多くなっている。

図表 14-3-2 性・年齢別 関心のあるまちづくりの分野

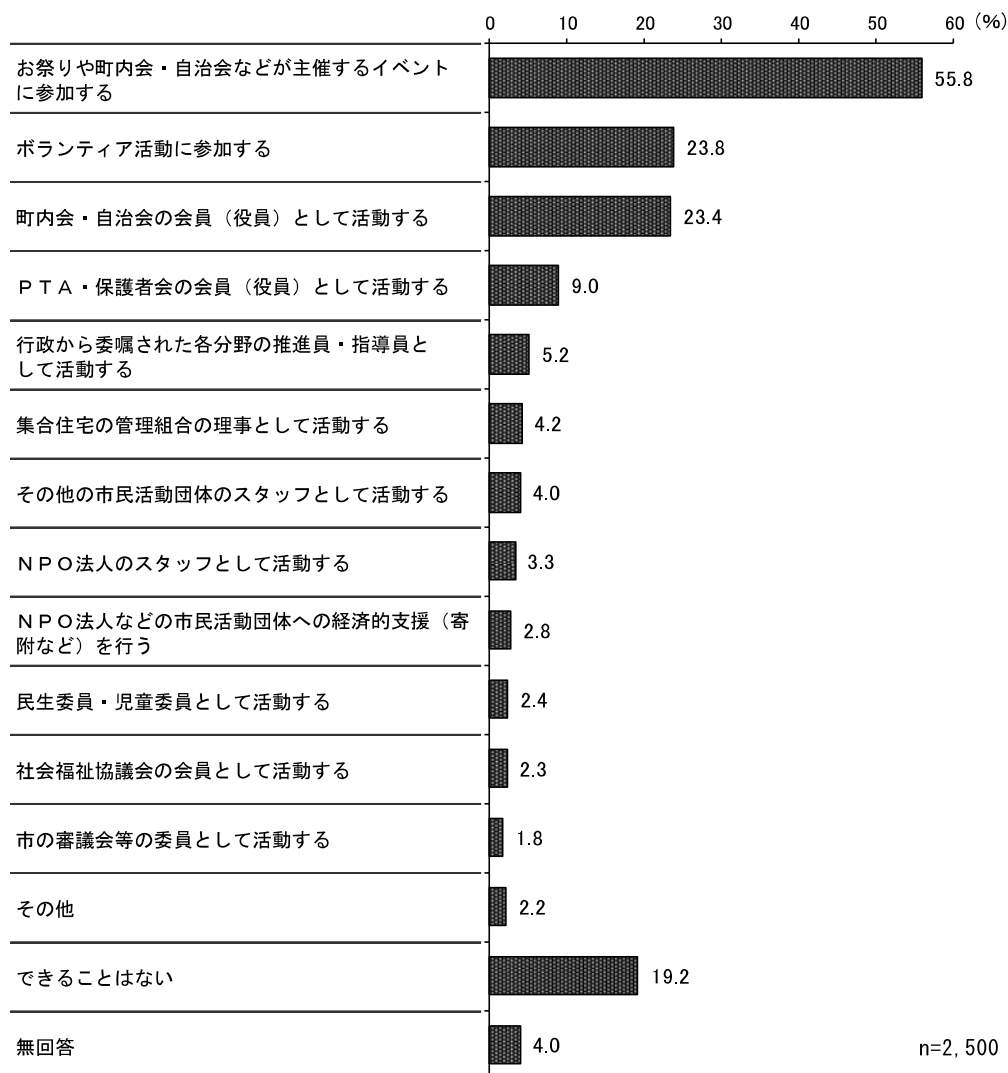
	調査数（人）	暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）	福祉に関すること（社会保障、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など）	環境に関すること（ごみ問題、自然環境など）	健康づくりや医療に関すること（地域医療、予防医療、保健など）	活動（地域活動、市民活動、ボランティアなど）	子育てや教育に関すること（子育て、学校教育、青少年教育など）	都市の開発や整備に関すること（都市計画、都市施設、住宅など）	文化やスポーツ・レクリエーションに関すること（歴史、文化、スポーツ・レクリエーション、生涯学習など）	観光、農業、雇用など（産業振興、地域経済に関すること）	男女共同参画、多文化共生、平和など（人権や平和に関すること（人権、男女共同参画、多文化共生、平和など）	その他	関心がない	無回答
全体	2,500	61.9	53.5	39.1	40.3	16.4	28.1	17.6	23.3	13.3	10.0	1.0	7.0	2.9
女性全体	1,309	61.3	57.6	37.7	43.5	16.7	32.0	14.5	20.8	11.4	10.5	1.1	6.7	2.8
18～29歳	118	56.8	45.8	25.4	37.3	20.3	60.2	15.3	20.3	16.9	12.7	-	11.9	0.8
30～39歳	204	54.4	46.6	27.9	36.3	16.2	67.2	18.6	23.5	13.2	8.3	2.0	7.8	1.0
40～49歳	224	57.6	47.8	28.1	39.3	16.1	43.3	11.2	22.8	9.4	7.1	2.7	8.0	1.3
50～59歳	190	70.5	67.4	54.2	46.8	16.8	20.0	18.4	21.1	16.8	13.7	0.5	3.2	-
60～69歳	268	66.4	66.8	47.0	47.4	19.0	18.3	12.3	20.9	8.2	11.6	-	4.9	4.1
70歳以上	302	60.3	62.3	37.7	48.0	13.9	8.3	13.6	17.5	8.9	10.9	1.0	7.0	6.3
男性全体	1,025	63.9	48.2	41.4	37.7	15.7	25.2	21.8	27.5	16.3	8.5	0.8	7.5	2.3
18～29歳	97	53.6	32.0	41.2	29.9	14.4	27.8	26.8	28.9	18.6	12.4	2.1	13.4	1.0
30～39歳	120	60.8	39.2	34.2	31.7	11.7	53.3	21.7	30.0	21.7	5.8	2.5	11.7	0.8
40～49歳	206	60.2	43.7	37.9	31.1	18.4	36.4	25.2	29.6	12.1	6.8	0.5	7.3	0.5
50～59歳	142	59.2	44.4	37.3	33.1	7.7	21.8	23.9	24.6	16.2	9.2	1.4	9.9	2.1
60～69歳	207	67.1	54.6	46.9	40.6	16.4	12.6	18.4	26.6	18.4	7.7	-	6.8	3.4
70歳以上	245	71.8	60.0	44.5	48.6	18.8	11.8	17.6	25.3	13.5	9.4	-	2.9	4.5

(4) まちづくりのためにできること

◇「お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する」が最も多く、5割半ば

問48. 越谷市のまちづくりのために、あなた自身ができることがあるとすれば、次のどれですか。(複数回答可)

図表 14-4-1 まちづくりのためにできること



まちづくりのためにできることについては、「お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する」(55.8%)が最も多く、次いで、「ボランティア活動に参加する」(23.8%)、「町内会・自治会の会員(役員)として活動する」(23.4%)、「P T A・保護者会の会員(役員)として活動する」(9.0%)、「行政から委嘱された各分野の推進員・指導員として活動する」(5.2%)の順となっている。また、「その他」として「消防団への加入」「講演」等が挙げられた。

性別でみると、「PTA・保護者の会員（役員）として活動する」は女性（13.4%）が男性（4.4%）より9.0ポイント、「ボランティア活動に参加する」は女性（27.3%）が男性（21.0%）より6.3ポイント、「お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する」は女性（57.9%）が男性（53.9%）より4.0ポイントそれぞれ高くなっている。

性・年齢別でみると、「お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する」は女性30～39歳（72.1%）で7割強と最も多く、女性18～29歳（66.9%）、男性30～39歳（64.2%）で6割半ばと多くなっている。また、「ボランティア活動に参加する」は女性18～29歳（46.6%）で4割半ばと最も多く、「町内会・自治会の会員（役員）として活動する」は女性50～59歳（34.7%）で3割半ばと最も多くなっている。

図表14-4-2 性・年齢別 まちづくりのためにできること

	調査数（人）	お祭りや町内会・自治会などが主催するイベントに参加する	町内会・自治会の会員（役員）として活動する	ボランティア活動に参加する	NPO法人のスタッフとして活動する	その他の市民活動団体のスタッフとして活動する	集合住宅の管理組合の理事として活動する	民生委員・児童委員として活動する	社会福祉協議会の会員として活動する	PTA・保護者の会員（役員）として活動する	推進員・指導員として活動する	行政から委嘱された各分野の	市の審議会等の委員として活動する	NPO法人などの市民活動団体への経済的支援（寄附など）を行う	その他	できることはない	無回答
全体	2,500	55.8	23.4	23.8	3.3	4.0	4.2	2.4	2.3	9.0	5.2	1.8	2.8	2.2	19.2	4.0	
女性全体	1,309	57.9	24.2	27.3	2.8	3.6	3.5	2.2	2.1	13.4	3.1	0.5	2.7	1.8	17.3	4.0	
18～29歳	118	66.9	10.2	46.6	4.2	0.8	-	2.5	0.8	11.0	4.2	-	3.4	1.7	14.4	0.8	
30～39歳	204	72.1	21.1	27.0	3.9	2.0	3.4	1.0	1.0	30.9	2.0	-	2.5	1.5	11.3	2.0	
40～49歳	224	53.6	23.7	24.1	3.6	4.0	6.3	2.7	-	31.3	3.1	0.9	3.1	2.7	13.4	2.7	
50～59歳	190	58.9	34.7	30.5	4.2	5.3	6.8	3.7	1.6	13.2	3.7	1.1	3.2	1.6	10.5	0.5	
60～69歳	268	55.6	30.6	28.0	1.9	4.1	2.6	2.2	4.1	1.9	2.6	0.7	2.6	1.5	18.7	5.2	
70歳以上	302	49.0	19.5	19.2	1.0	4.0	1.7	1.7	3.3	-	3.3	0.3	2.0	2.0	28.8	8.9	
男性全体	1,025	53.9	22.6	21.0	4.2	4.6	5.9	2.4	2.5	4.4	7.8	3.2	3.2	2.3	21.2	2.7	
18～29歳	97	50.5	11.3	25.8	4.1	1.0	-	-	-	1.0	8.2	2.1	1.0	1.0	32.0	-	
30～39歳	120	64.2	16.7	25.0	5.0	2.5	2.5	3.3	-	7.5	7.5	0.8	1.7	1.7	18.3	2.5	
40～49歳	206	59.7	18.0	17.0	2.9	3.9	6.8	1.5	1.9	12.1	9.2	2.4	3.9	0.5	20.4	1.0	
50～59歳	142	55.6	24.6	18.3	3.5	4.2	11.3	2.1	1.4	5.6	5.6	3.5	2.8	2.1	19.0	2.8	
60～69歳	207	48.8	32.4	24.6	8.2	6.3	9.2	3.4	3.4	1.0	9.2	7.7	5.8	3.4	18.8	3.4	
70歳以上	245	48.2	23.7	18.4	2.0	6.1	2.4	2.4	4.9	-	6.5	1.6	2.4	4.1	22.9	4.9	

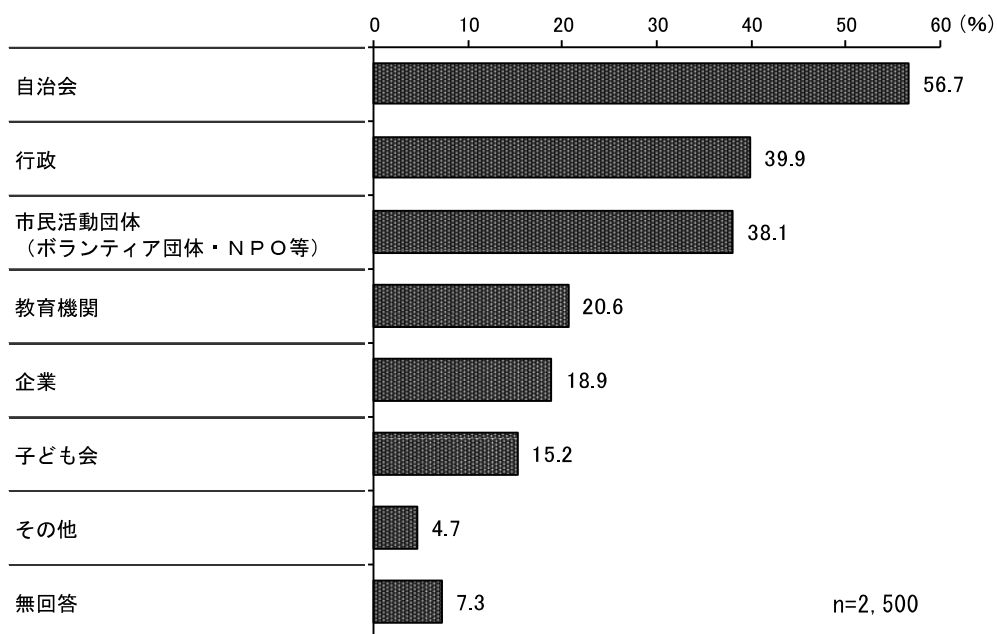
(%)

(5) 協働の担い手

◇「自治会」が最も多く、5割半ば

問 49. 越谷市では「それぞれがお互いの役割を認識して取り組むこと」を協働とし、まちづくりを推進しています。その担い手として、あてはまるものはどれだと思いますか。
(複数回答可)

図表 14-5-1 協働の担い手



協働の担い手については、「自治会」(56.7%)が最も多く、次いで、「行政」(39.9%)、「市民活動団体(ボランティア団体・NPO等)」(38.1%)、「教育機関」(20.6%)、「企業」(18.9%)の順となっている。また、「その他」として「老人会」「PTA」等が挙げられた。

性別で見ると、「市民活動団体（ボランティア団体・NPO等）」は女性（42.0%）が男性（35.4%）より6.6ポイント、「教育機関」は女性（24.1%）が男性（17.8%）より6.3ポイントそれぞれ高くなっている。

性・年齢別で見ると、「自治会」は女性60～69歳（67.2%）で7割弱と最も多く、「市民活動団体（ボランティア団体・NPO等）」は女性18～29歳（59.3%）で約6割と最も多くなっている。

図表 14-5-2 性・年齢別 協働の担い手

	調査数 (人)	市民活動団体 (ボランティア団体・NPO等)	行政	企業	教育機関	自治会	子ども会	その他	無回答
全体	2,500	38.1	39.9	18.9	20.6	56.7	15.2	4.7	7.3
女性全体	1,309	42.0	39.6	19.6	24.1	56.3	16.3	4.0	7.3
18～29歳	118	59.3	39.0	25.4	36.4	47.5	25.4	3.4	5.1
30～39歳	204	45.6	42.6	27.9	37.3	50.0	27.0	3.4	3.4
40～49歳	224	41.5	51.3	27.7	34.4	45.5	15.6	3.1	4.0
50～59歳	190	47.9	52.1	25.8	24.2	59.5	13.7	1.6	4.2
60～69歳	268	39.6	35.4	10.4	17.9	67.2	12.7	2.2	6.7
70歳以上	302	32.1	25.2	9.6	8.3	60.9	10.9	8.6	15.2
男性全体	1,025	35.4	41.5	18.8	17.8	57.3	14.0	5.2	6.0
18～29歳	97	35.1	44.3	27.8	26.8	36.1	11.3	4.1	2.1
30～39歳	120	35.0	42.5	24.2	27.5	60.8	29.2	3.3	4.2
40～49歳	206	36.4	51.9	25.7	21.8	53.9	16.0	4.9	3.4
50～59歳	142	36.6	50.7	28.2	19.0	59.2	16.9	4.2	2.8
60～69歳	207	41.1	40.1	14.5	14.5	62.3	9.2	4.3	6.8
70歳以上	245	28.6	25.7	3.7	7.3	60.8	8.2	8.2	12.2

(%)

○事務事業評価(総振進捗)「広聴事業」の指標内訳

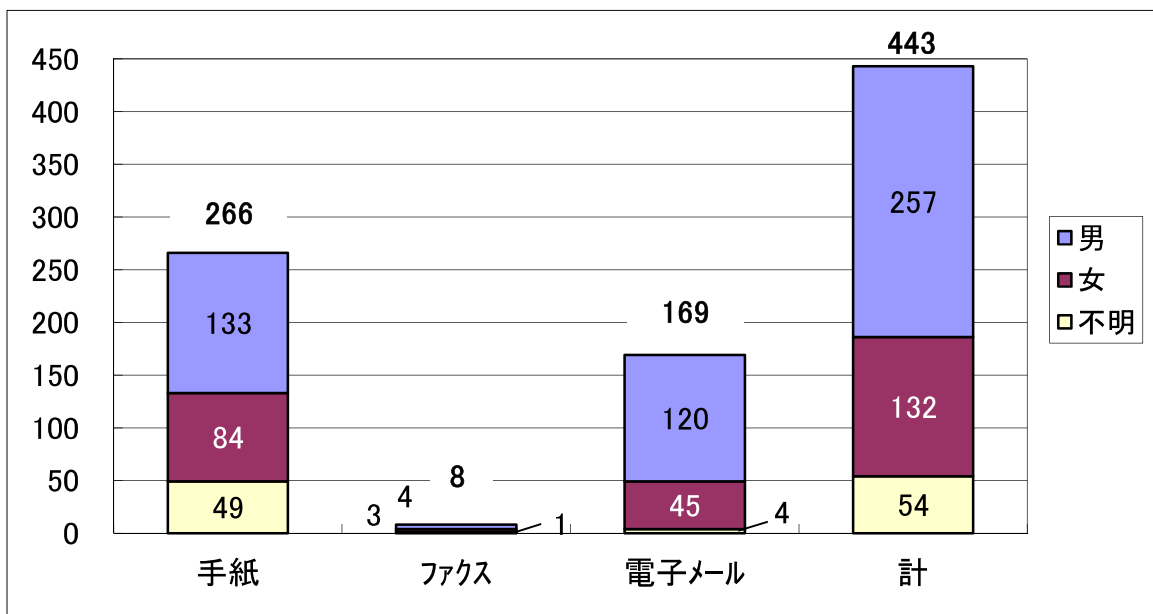
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
市民の声(受理件数) (H22のみ項目数)	732	589	583	708	610	821	733
手紙等	540	460	429	503	412	585	443
電話・来訪	192	129	154	205	198	236	290
要望(受理件数)	63	57	41	56	35	40	44
モニター提言(項目数)	59	48	108	97	84	112	116
ふれあいミーティング (項目数)※1	410	351	203	67	69	124	26
合計	1,264	1,045	935	928	798	1,097	919

※1 H25～ふれあい訪問含む

イ.男女別集計表

	男	女	不明	計
手紙	133	84	49	266
ファクス	4	3	1	8
電子メール	120	45	4	169
計	257	132	54	443

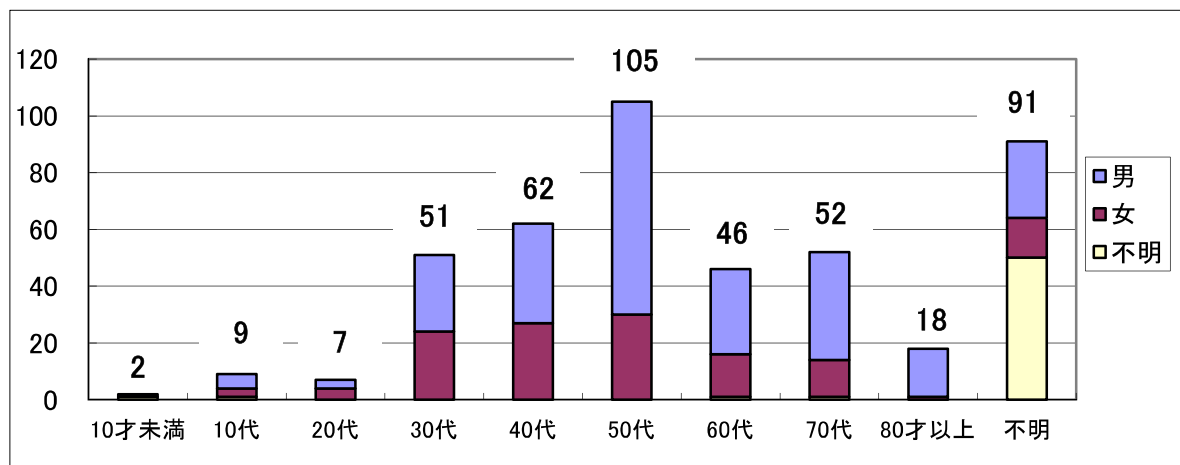
男女別集計表グラフ



ウ.年代別集計表

	10才未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80才以上	不明	計
男	0	5	3	27	35	75	30	38	17	27	257
女	1	3	4	24	27	30	15	13	1	14	132
不明	1	1	0	0	0	0	1	1	0	50	54
計	2	9	7	51	62	105	46	52	18	91	443

年代別集計表グラフ



平成28年度 地区コミュニティ推進協議会等 実施事業例

【桜井地区】	『緑カーテン事業』 地区センターに大きな緑のカーテンを設置し、「こしがや緑のオアシス」に認定されました。来年度はもっと大きなカーテンにチャレンジする予定です。
【新方地区】	『ホタルの飼育・放流』 新方地区で、幼虫から半年間飼育し、近くの水田へ6月に放流後、7月24日に鑑賞会を開催しました。
【増林地区】	『交通安全に関する啓発活動』 地域全体で交通安全意識を高めるため、3年間かけて全7自治会分の啓発看板を作製し、保育所や小学校、公園付近に設置しました。
【大袋地区】	『大袋地区文化発信事業』 大袋地区マスコットキャラクター「ウメブクロー」が地区の文化祭やイベントに参加し、会場を盛り上げました。
【荻島地区】	『花いっぱいまつり』 花植え後に、模擬店やゲームを行うイベントであり、自然を通じての交流の場となっています。
【出羽地区】	『出羽公園緑化運動 パンジーの花植え』 地区の美化啓蒙活動として、出羽公園のふれあい花壇に武蔵野中学校の生徒と自治会員とともにパンジーの植栽を行いました。
【蒲生地区】	『花いっぱい運動』 蒲生地区センター・公民館及び児童館ヒマワリの花壇に、金魚草やナデシコを植栽しました。
【川柳地区】	『まちづくり探検隊&シンポジウム』 川柳地区の良いところや改善すべき箇所を調査。シンポジウムを実施後、自治会連合会と連携し、危険箇所の改善を、市に要望しました。
【大相模地区】	『大相模ひまわりフェスタ』 夏を彩るひまわりが約1,300㎡の敷地一面に元気に咲く姿は、パワフルで必見です。大相模地区のキャラクター「ひまりん」も参加しました。
【大沢地区】	『第16回大沢ふれあいまつり ふれあいと健康』 平成28年度は、「自己体力を知って健康長寿を目指そう」をテーマに、体力測定等を行いました。
【越ヶ谷地区】	『越ヶ谷地区クリーン作戦』 越谷花火大会の翌日に、越谷駅や越谷市役所周辺の美化活動を行いました。
【北越谷地区】	『北越谷さくらまつり』 元荒川桜堤の桜の開花に先駆けて実施。イベントを通じて、地区住民の交流が深まりました。
【南越谷地区】	『避難所運営ゲーム(HUG)体験事業』 自治会・コミ協を中心に避難所運営ゲームを実施しました。いざという時のため、多くのことを学びました。

平成28年度越谷しらこぼと基金助成事業一覧(29. 3. 31現在)

【別紙 4】

単位(円)

No.	申請者	事業名	事業実施日	申請		決定		参加人数
				事業予算額	申請助成額	事業決算額	決定助成額	
1	子どもすくすくリサーチ隊	経験豊富な元看護師さんから学ぼう事業	平成28年6月21日(火) 市民活動支援センター・活動室	28,100	22,000	29,059	22,000	26
2	劇団コシガヤン	ミュージカル「私の夢～夢は諦めちゃダメ! きっと叶うその日まで～」	平成28年8月21日～22日 中央市民会館 劇場	1,220,000	500,000	1,282,698	500,000	554
3	認定NPO法人男女共同参画こしがやともろう	忘れない・伝えたい「記憶を紡ぐ三つの手」～東日本大震災から学ぶ～	平成28年7月～12月(3回講座) 男女共同参画支援センター「ほっと越谷」	120,000	96,000	120,345	96,000	51
4	絆の灯プロジェクト	東日本大震災を風化させない! 心よせあう 絆の灯	平成28年8月1日(月) 中央市民会館 劇場	554,026	277,000	538,373	269,000	332
5	越谷わんにゃんボランティア	第2回「人と動物が共生する社会づくりセミナー」	平成29年1月29日(日) 越谷サンシティ小ホール	336,500	160,000	251,181	160,000	200
6	越谷ふるさとプロジェクト	レイクタウンビオトープで自然と友達になろう	平成28年7月25日(月) 水辺のまちづくり館・レイクタウンビオトープ	70,640	56,000	74,723	56,000	20
7	NPO法人 大道・屋敷林の会	夏休みWS 竹細工作り事業	平成28年7月2日(土)	257,000	160,000	227,632	160,000	50
8	越谷時代塾	段ボール甲冑製作講座～市民まつり パレードへの参加	平成28年5月1日～10月30日 市民活動支援センター・活動室	300,000	160,000	269,377	160,000	30
9	越谷アウトドアクラブ	子どもたちで学ぶアウトドア授業	平成28年5月29日(日) しらこぼと運動公園バーベキュー場	108,801	87,000	107,707	86,000	50
10	認定NPO法人子育て支援ワーカーズコレクティブみるく	ハロウィンパーティーinこしがや	平成28年9月24日(土)～10月29日 越谷駅前東口広場・市民活動支援センター	950,000	400,000	900,328	400,000	3,300
11	S. W. E. P事務局	子育てママのプチ就業! お仕事ワークショップ	平成28年12月1日～2日 男女共同参画支援センター「ほっと越谷」	163,240	130,000	166,698	130,000	25
12	こしがや市母子愛育会	親子で楽しむクリスマスコンサート	平成28年12月6日 レイクタウン水辺のまちづくり館	116,800	93,000	116,800	93,000	174
13	こしがや地域ネットワーク13	埼玉一の「おもてなしの心」越谷を目指して～私たちにできること～	平成28年10月1日～平成29年2月15日 市民活動支援センター・活動室など	116,000	92,000	127,212	92,000	370
14	越谷市郷土研究会	越谷街あるき	平成28年10月1日～平成29年3月31日 越谷市内	165,000	160,000	326,126	160,000	275
市民活動助成事業小計 14 件				4,506,107	2,393,000	4,538,259	2,384,000	5,457

	No.	申請者	種目	開催日程・開催場所	申請		決定		人数
					事業予算額	申請助成額	事業決算額	決定助成額	
スポーツ顕彰助成事業	1	山本 茂樹	ベンチプレス	平成28年4月18日～24日 デンマーク・ロドビー	/	30,000	/	30,000	1
	2	長尾 優子	ベンチプレス	平成28年4月18日～24日 デンマーク・ロドビー	/	30,000	/	30,000	1
	3	ファルキアブドゥル アズィーズ	パワーリフティング	平成28年6月20日～24日 アメリカ・キリーン	/	30,000	/	30,000	1
	4	ファルキアブドゥル アズィーズ	パワーリフティング	平成28年8月28日 ～9月3日 ポーランド	/	30,000	/	30,000	1
	5	村上 将太	パワーリフティング	平成28年6月19日～26日 アメリカ・キリーン	/	30,000	/	30,000	1
	6	深利 仁志	空手	平成28年9月24日～26日 秋田県	/	10,000	/	10,000	1
	7	芝田 悠進	卓球	平成28年7月29日～31日 兵庫県神戸市	/	10,000	/	10,000	1
	8	ドリームKクラブ	軟式野球	平成28年9月30日 ～10月4日 群馬県前橋市他	/	50,000	/	50,000	17
	9	阿呆鳥	9人制バレーボール	平成28年8月11日～14日 三重県	/	50,000	/	50,000	9
	10	村上 将太	パワーリフティング	平成28年8月28日 ～9月3日 ポーランド	/	30,000	/	30,000	1
	11	くすのき	9人制バレーボール	平成28年11月16日～18日 静岡県	/	50,000	/	50,000	14
	12	桃源郷(男)	9人制バレーボール	平成28年11月3日～6日 北海道	/	50,000	/	50,000	9
	13	桃源郷(女)	9人制バレーボール	平成28年11月3日～6日 北海道	/	50,000	/	50,000	9
	14	三田 陽輝	ジュニアテニス	平成28年10月14日～16日 岡山県	/	10,000	/	10,000	1
	15	村上 直樹	ジュニアテニス	平成28年11月1日～6日 福岡県	/	10,000	/	10,000	1
	16	若尾 颯馬	ジュニアテニス	平成28年11月1日～6日 福岡県	/	10,000	/	10,000	1
	17	原篠 莓花	空手	平成29年3月19日 東京都	/	10,000	/	10,000	1
	18	越谷Kクラブ	少年野球	平成29年3月26日～30日 東京都、埼玉県	/	50,000	/	50,000	20
	19	栄進中学校	ジュニアテニス	平成29年3月29日～31日 香川県	/	50,000	/	50,000	9
		スポーツ顕彰助成 事業小計	19 件		590,000		590,000	99	
		合計	33 件		4,506,107	2,983,000	4,538,259	2,974,000	5,556

NPO等との協働事業等調査票(28年度実績)

年度	市町村名	課所名	調査項目	事業名	事業内容、事業の相手(対象)、選定方法、役割分担、経費負担等	件数・回数・参加者数等	新規／継続
28	越谷市	市民活動支援課	②事業共催	協働のまちづくり研修会	【事業内容】市職員及び市民活動団体が協働のまちづくりのイメージを共有し、協働を進める一助とするため、合同で研修会を実施した。 【共催の相手】こしがや市民活動連合会 【役割分担】合同での企画、立案の会議の場を設けたほか、団体は情報周知、市は会場提供、広報、全体の進行等を行った。 【経費負担】会場費、講師謝礼は市が負担	年1回 参加者55人	新規
28	越谷市	市民活動支援課	②事業共催	越谷市中学生使節団姉妹都市派遣事業	【事業内容・対象】姉妹都市オーストラリア・キャンベルタウン市へ市立中学2年生15名及び引率者2名を派遣した。 【共催の相手】越谷市国際交流協会 【役割分担】派遣生の募集と研修会場(市施設)の手配を市で行う。	1回・17名	継続
28	越谷市	市民活動支援課	②事業共催	キャンベルタウン市青少年使節団受入事業	【事業内容・対象】姉妹都市オーストラリア・キャンベルタウン市から青少年(14～17歳)14名及び引率者2名を受け入れた。 【共催の相手】越谷市国際交流協会 【役割分担】ホストファミリーの募集と視察先の手配の一部を市で行う。	1回・16名	継続
28	越谷市	青少年課	②事業共催	越谷市わくわく体験プロジェクト	【事業内容】不登校児童、生徒及び保護者への支援を目的に行政、NPO、地域の協働で子どもの体験事業を実施する。主な内容:不登校体験者の体験談を聞く 【協力の相手】NPO法人越谷らご、NPO法人ファミリーリンク越谷、NPO法人子育てサポーター・チャオ、一般公募5名 【役割分担】企画、立案など全面的に協力	実施回数 3回 参加者数 53人	継続
28	越谷市	児童館ヒマワリ	②事業共催	ペンギンクラブ	【事業内容】子育て家族同士が繋がり、互いに子どもを預け合う機会を設け支援する。 【共催団体】NPO法人子育て支援ワーカーズコレクティブみるく 【選定方法】実績のある団体 【役割分担】団体と市が協働で企画運営を行う。会場提供、広報活動は市が行う。 【経費負担等】市(会場提供、講師謝金、消耗品費等) 団体(その他事業運営費)	年10回	継続
28	越谷市	保健総務課	②事業共催	難病患者交流会	【事業内容】市内パーキンソン病患者やその家族を対象とし、情報共有等の場を設けるために交流会を開催する。 【共催の相手】埼玉県パーキンソン病友の会 【役割分担】市が会場準備、全体の進行。友の会会員が交流会の各グループ内で進行。	年3回開催 参加者193人	継続
28	越谷市	環境政策課	②事業共催	エコ・クッキング	【事業内容】日々の生活における省エネルギー・省資源・ごみの減量の達成及び環境にやさしい調理の普及啓発 【共催の相手】越谷市環境推進市民会議 【役割分担】市と市民会議とで企画・運営を行う。	年1回開催 24名	継続
28	越谷市	環境政策課	②事業共催	ECOこしがや環境ファミリー宣言事業	【事業内容】家庭における環境に配慮した取組みを自主的に宣言し、実践する家庭を募集。 【共催の相手】越谷市環境推進市民会議 【役割分担】市と市民会議で企画・運営を行う。 【経費負担】申請書、登録書作成は市が負担。	350世帯	継続

28	越谷市	環境政策課	②事業共催	エコ・クッキング	【事業内容】日々の生活における省エネルギー・省資源・ごみの減量の達成及び環境にやさしい調理の普及啓発 【共催の相手】越谷市環境推進市民会議 【役割分担】市と市民会議とで企画・運営を行う。	年1回開催 24名	継続
28	越谷市	環境政策課	②事業共催	ECOこしがや推進事業所宣言事業	【事業内容】市内の事業所に環境に配慮した取組みを宣言し、実践してもらう 【共催の相手】越谷市環境推進市民会議	新規登録なし	継続
28	越谷市	環境政策課	②事業共催	環境大会	【事業内容】環境活動をしている市民団体や行政・教育機関等が一堂に会して、越谷市のエコな取組み成果を発表する。 【共催の相手】越谷市環境推進市民会議 【役割分担】市と市民会議で企画・運営を行う。 【経費分担】チラシ、会場使用料は市が負担。	年1回開催 97名	継続
28	越谷市	環境政策課	②事業共催	こしがや緑のオアシス2020プロジェクト	【事業内容】緑のカーテンや屋敷林等を創造・維持管理していく活動である「緑のオアシス」を地域に広げていくことを目的として、越谷市との共催、学校や各地区コミュニティ推進協議会、事業者等の協力により、2020年までに2020個のエコな取組みを目標に「こしがや緑のオアシス2020プロジェクト」を実施する。 【共催の相手】越谷市環境推進市民会議 【役割分担】市と市民会議で企画・運営を行う。	年1回開催 64件	継続
28	越谷市	環境政策課	②事業共催	川ガキ養成事業	【事業内容】夏休み期間中に実施される子ども達を対象とした水生生物調査などのイベント 【共催の相手】新方川をきれいにする会、埼玉県東部漁業協同組合、越谷市環境推進市民会議 【役割分担】市は水生生物調査の実施 【経費分担】チラシ、保険等は県が負担	1回 37名	継続
28	越谷市	環境政策課	②事業共催	ECO勉強会	【事業内容】環境活動をしている市民・事業者・団体・行政機関の連携を深め、情報や意見を交換する場として開催。 【共催の相手】越谷市環境推進市民会議 【役割分担】市と市民会議で企画・運営を行う。 【経費分担】チラシや資料印刷、会場使用料は市が負担。	3回 計71名	継続
28	越谷市	環境政策課	②事業共催	こしがや子どもトンボサミット	【事業内容】「越谷生物多様性子ども調査」に取り組んでいる市内小学生を対象に、調査結果を発表し、環境との共生を考える。 【共催の相手】越谷市環境推進市民会議、Act Green ECO WEEK 実行委員会 【役割分担】市と市民会議で企画・運営を行う。 【経費分担】ポスター・チラシや資料印刷は市が負担。	年1回開催 100名	新規
28	越谷市	環境政策課	②事業共催	大相模調節池いきもの調査	【事業内容】大相模調節池にすむ水生生物を採取し、同定・観察を行う。 【共催の相手】越谷ふるさとプロジェクト 【役割分担】市と越谷ふるさとプロジェクトで企画・運営を行う。 【経費分担】ポスター・チラシや資料印刷は市が負担。	1回 80名	新規

28	越谷市	環境政策課	②事業共催	エコ・クッキング	【事業内容】日々の生活における省エネルギー・省資源・ごみの減量の達成及び環境にやさしい調理の普及啓発 【共催の相手】越谷市環境推進市民会議 【役割分担】市と市民会議とで企画・運営を行う。	年1回開催 24名	継続
28	越谷市	環境政策課	②事業共催	川をめぐる子ども体験バスツアー	【事業内容】市内を流れる川とつながる地域を訪問し、水と自然環境について体験的に学習する。 【共催の相手】越谷ふるさとプロジェクト 【役割分担】市と越谷ふるさとプロジェクトで企画・運営を行う。 【経費分担】ポスター・チラシや資料印刷、バス代は市が負担。	年1回開催 42名	新規
28	越谷市	生涯学習課	②事業共催	パソコン無料相談室	【事業内容】パソコンの無料相談室を月1回年間で12回実施した 【事業の相手】NPO法人越谷市生涯学習民間ネットワーク協会 【役割分担】市と越谷市生涯学習民間ネットワーク協会とで企画運営を行った(会場予約、申込受付は市)。 【経費分担】市負担(講師謝礼)、NPO負担(その他の事業運営経費)	全12回 参加者 112人	継続
28	越谷市	生涯学習課	②事業共催	第35回越谷市県展記念作品展	【事業内容】県美術展覧会に入選等された市民の作品を展示 【事業(協力)の相手】第35回越谷市県展記念作品展実行委員会(事務局:生涯学習課) 【役割分担】実行委員会にて事業の企画・運営を行った。 【経費負担】市負担(会場提供、印刷製本費) 実行委員会負担(消耗品費等)	全1回 出品者 77人 入場者 1,793人	継続
28	越谷市	生涯学習課	②事業共催	第17回越谷市美術展覧会	【事業内容】作品を公募し、入選等された市民の作品を展示 【事業(協力)の相手】第17回越谷市美術展覧会実行委員会(事務局:生涯学習課) 【役割分担】実行委員会にて事業の企画・運営を行った。 【経費負担】市負担(会場提供、協力員記念品)、実行委員会負担(消耗品費等)	全1回 展示作品 293点 入場者 3,746人	継続
28	越谷市	生涯学習課	②事業共催	第48回越谷市民文化祭	【事業内容】市民による文化活動(出演部門:日本舞踊・ハワイアン等、出品部門:工芸・華道等)の発表 【事業(協力)の相手】第48回越谷市市民文化祭実行委員会(事務局:生涯学習課) 【役割分担】実行委員会にて事業の企画・運営を行った。 【経費負担】市負担(会場提供) 実行委員会負担(消耗品費等)	全1回 参加者 3,689人 入場者 8,818人	継続
28	越谷市	生涯学習課	②事業共催	第14回こしがや能楽の会	【事業内容】市内で活動する能楽関係団体による発表 【事業(協力)の相手】第14回こしがや能楽の会実行委員会(事務局:生涯学習課) 【役割分担】実行委員会にて事業の企画・運営を行った。 【経費負担】市負担(会場提供) 実行委員会負担(消耗品費等)	全1回 参加者 113人 入場者 507人	継続
28	越谷市	生涯学習課	②事業共催	第33回越谷市郷土芸能祭	【事業内容】市内で活動する郷土芸能保存団体による発表 【事業(協力)の相手】第33回越谷市郷土芸能祭実行委員会(事務局:生涯学習課) 【役割分担】実行委員会にて事業の企画・運営を行った。 【経費負担】市負担(会場提供) 実行委員会負担(消耗品費等)	全1回 参加者 191人 入場者 830人	継続

28	越谷市	環境政策課	②事業共催	エコ・クッキング	【事業内容】日々の生活における省エネルギー・省資源・ごみの減量の達成及び環境にやさしい調理の普及啓発 【共催の相手】越谷市環境推進市民会議 【役割分担】市と市民会議とで企画・運営を行う。	年1回開催 24名	継続
28	越谷市	生涯学習課	②事業共催	大間野町旧中村家住宅イベント	【事業内容】開館記念他各種イベントを複数回実施 【共催の相手】NPO法人越谷市郷土研究会 【役割分担】市及びNPOで協議し、企画立案、会場運営を協働で行った。 【経費分担】市負担(会場提供、食糧費)、NPO負担(その他の事業運営経費)	全5回 参加者 485人	継続
28	越谷市	生涯学習課	②事業共催	文化財講演会	【事業内容】文化財講演会を年1回実施 【共催の相手】NPO法人越谷市郷土研究会 【役割分担】市及びNPOで協議し、企画立案、会場運営を協働で行った。 【経費分担】市負担(会場提供、講師謝礼)、NPO負担(その他の事業運営経費)。	全1回 参加者 180人	継続
28	越谷市	生涯学習課	②事業共催	古民家で聞く浄山寺「木造地藏菩薩立像」国重要文化財指定記念講演会	【事業内容】浄山寺「木造地藏菩薩立像」が国重要文化財に指定されたことを記念した講演会 【共催の相手】NPO法人越谷市郷土研究会 【役割分担】市及びNPOで協議し、企画立案、会場運営を協働で行った。 【経費分担】市負担(会場提供、講師謝礼)、NPO負担(その他の事業運営経費)。	全1回 参加者 24人	新規
28	越谷市	生涯学習課	②事業共催	越谷市生涯学習フェスティバル	【事業内容】生涯学習フェスティバルの企画・運営・実施 【共催の相手】越谷市生涯学習推進会 【役割分担】市及び市民組織である越谷市生涯学習推進会で協議し、企画・運営・実施を協働で行った。 【経費分担】市負担	全1回 参加者 4,545人	継続
28	越谷市	生涯学習課	②事業共催	性の多様性の理解促進に関する講座	【事業内容】性の多様性の理解促進に関する講座の企画・運営・実施 【共催の相手】男女共同参画こしがやともろう 【役割分担】市及びNPOで協議し、企画立案等を協働で行った。 【経費分担】市負担(講師謝礼の一部)	全1回 参加者 65人	継続
28	越谷市	図書館	②事業共催	児童文学講演会	【事業内容】子どもの読書への理解・関心を深め、自主的な読書活動の推進につながるよう、講師を招きより多くの保護者、教育関係者などに絵本、児童文学のすばらしさ、楽しさを伝えるため、児童文学講演会を行う。 【共催の相手】越谷市地域家庭文庫連絡会 【役割分担】地域家庭文庫連絡会から講師の候補をあげていただき、講演会当日の協力をしてもらう。 【経費負担】経費は、市の負担とする。	年1回 延べ参加者数 109人	継続

28	越谷市	環境政策課	②事業共催	エコ・クッキング	【事業内容】日々の生活における省エネルギー・省資源・ごみの減量の達成及び環境にやさしい調理の普及啓発 【共催の相手】越谷市環境推進市民会議 【役割分担】市と市民会議とで企画・運営を行う。	年1回開催 24名	継続
28	越谷市	生涯学習課 大沢公民館	②事業共催	親子ゆーゆー学級	[事業内容]家庭における親の子どもに対する接し方や教育方法等を、実践的な遊びや座学を通じ、学習する場を提供することによって、親子の育ちを支援する。 [共催の相手]NPO法人 子育てサポーター・チャオ [役割分担]NPO法人が企画運営を、市は会場提供、広報、受講者募集を行う(公民館主催事業の一環として実施)。 [経費分担(内容)]市は講師謝礼金を負担。	10～11月にかけて6回実施。 延べ154名参加。	継続
28	越谷市	消防本部警防課	②事業共催	レイクタウン防災フェ ス2016	[事業内容]イオンレイクタウンアウトレット北側駐車場を会場として、市民に対し防災に対する理解を深めることを目的として開催。 [協力の相手]NPO法人ビーグッドカフェ [役割分担]体験ブース及びPRブースを設置。運営は、法人が担当。 [経費分担(内容)]機材等を消防本部側で用意し、その他は法人側で負担。	5月28、29日開催 PRブース6772人 体験人数11230人	継続

平成28年度広報こしがやの掲載記事

発行月日	主な記事	発行月日	主な記事
7/1 No.1336	<ul style="list-style-type: none"> ・都うちわの風薫る夏 ・越谷レイクタウン地区 都市計画大賞(国土交通大臣賞)を受賞 ・防災に関する情報発信をさまざまな方法で行っています ・渇水のため、節水にご協力ください ・生活自立相談「よりそい」 ・シルバーカレッジ・受講生募集 ・プロがとっておきの情報を教えます 第3回越ヶ谷まちゼミ ・健康情報コラム 「お菓の飲み残り」困ったら「かかりつけ薬剤師」へ ・ホームドクター 疥癬をご存知ですか？ ・こどもニュース わんぱく相撲越谷場所 力と力の勝負に歓声 	9/1 No.1338	<ul style="list-style-type: none"> ・越谷の星リオで輝く 2大会連続銅メダル 「越谷市民栄誉賞」表彰が決定(受賞第1号) ・9月22日(祝)星奈津美選手のオリンピック報告会を開催します ・障がい者災害時支援バンダナを配布します ・敬老会へおいでください ・住宅の耐震診断・耐震改修費用の一部を助成します ・平成27年度情報公開制度・個人情報保護制度の実施状況をお知らせします ・商店会発行のガイドブックを持って、街歩きを楽しもう ・「越ヶ谷宿」のひやおろし9月9日(金)から限定販売 ・第27回こしがや新能 ・第61回市民体育祭中央大会 ・デンタルスマイル 歯の病気 ・ホームドクター 肛門と大腸のはなし ・星選手決勝の応援に350人が駆けつける 市民の思い届いた！ ・陸上男子400mハードルブラジル代表杉町マハウ選手魅した！
8/1 No.1337	<ul style="list-style-type: none"> ・越谷からリオデジャネイロへ オリンピックに出場する2選手を応援しよう!! ・目指せ金メダル 田んぼアートも干し選手を応援 ・星選手と一緒に応援しよう パブリックビューイングを実施します ・年内導入予定 証明書等のコンビニ交付がはじまります ・ふるさと作りを目指す市民活動を支援 越谷しらこぼと基金助成事業を募集します ・人権それは愛 ・越谷市民まつり参加者を募集 ・保育施設(保育所(園)・認定こども園・地域型保育)一斉見学会 ・健康情報コラム 認知症を予防するには運動を ・ホームドクター 大腸がん・大腸がん検診について ・平成28年度こしがやブランド認定品が決定しました 	10/1 No.1340	<ul style="list-style-type: none"> ・ロンドン五輪・リオ五輪 2大会連続銅メダル獲得の快挙 星奈津美選手に市民栄誉賞 ・10月3日(月)から証明書のコンビニ交付がスタートします!! ・川崎神社前バス停にサイクルアンドバスライド駐輪場を開設しました ・浄山寺の「木造地藏菩薩立像」国の重要文化財に指定 ・七左町二丁目、七左町三丁目の住所が変わります ・平成27年度 決算の概要 ・平成27年度の主な事業、寄付の状況 ・こしがや平和フォーラム2016 ・レイクタウンでAct Green ECO WEEK2016開催 ・江戸時代からの伝統の格式に伝える 4年ぶりに開催 越ヶ谷秋まつり ・元旦マラソン大会の参加者を募集します ・平成29年度学童保育室利用申請を受け付けます ・健康情報コラム 「2025年問題」に備え、志の高い薬局を選びましょう ・ホームドクター 色覚検査

発行月日	主な記事	発行月日	主な記事
11/1 No.1341	<ul style="list-style-type: none"> ・八カ町が集い五穀豊じょうを祝う！越ヶ谷秋まつり ・「災害時要援護者避難支援制度」を実施中 ・模擬議会を傍聴してみませんか ・冬限定「こしがやブランド認定品」のインターネット販売を開始します！ ・人事行政の運営等の状況～市の職員数と給与～ ・平成27年度国民健康保険、介護保険の財政状況 ・ご推薦ください 越谷市体育賞 ・2017年越谷カレンダーを販売します ・日光街道越ヶ谷宿第4回宿場まつり ・第2回さいたま国際マラソンに伴い交通規制を行います ・ひとり親家庭を支援しています ・平成29年度学童保育室利用申込みを受け付けます ・ホームドクター 切迫早産 ・こどもニュース 全国小学生陸上競技交流大会 本市からの出場2選手、好記録残す 	1/1 No.1344	<ul style="list-style-type: none"> ・ふたりの永遠を思い出に… 幸せいっぱいイラスト入り！オリジナル婚姻届 ・市の情報を随時お知らせ インターネットを活用した情報発信をしています ・中学生による、中学生のためのスマホ・ケータイのルール「越谷市立中学校スマホ・ケータイを幸せに使うために『共有ルール』を制定しました ・年頭のごあいさつ ・人間ドック検診料の一部助成の申請・請求は3月31日(金)までです ・平成28年度 婚活まんまるバスツアー参加者募集!! ・市役所の駐車場を利用される方へ ・市民農園の利用者を募集します ・国民健康保険・後期高齢者医療制度 平成28年度の人間ドック検診料助成の申請・請求は3月31日まで ・健康情報コラム 静的ストレッチングで筋肉をしっかりと伸ばしましょう ・ホームドクター 新玉の年のご挨拶
12/1 No.1342	<ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーション華やかに 色とりどきの灯をともして ・1月1・2日無料開園(キャンベルタウン、日本庭園「花田苑」、こしがや能楽堂) ・交通規制にご協力ください(久伊豆神社、元旦マラソン) ・知っておこう 福祉の窓口 ・新観光物産拠点施設「(仮)ガーヤちゃんの蔵屋敷」 ・平成28年度一般会計予算執行状況(上半期) 越谷市の財政状況をお知らせします ・住民票の不正取得による悪用を防ぐために 本人通知制度をご利用ください ・人権それは愛 ～同和問題の解決について考える～ ・1月3日(火)「越谷いちごタウン」がオープン ・年末年始業務のお知らせ ・デンタルスマイル 歯ぎしりの話 ・ホームドクター 通風は痛いだけ？ ・こどもニュース 「ミラクル」の県民の日 科学の不思議い目がくぎづけ 		

＜広報こしがや「季刊版」＞

市の重要施策や市民生活に役立つ情報などを写真(カラー含む)やイラストを取り入れ、分かりやすく親しまれる広報紙として発行しています。また、生涯学習情報紙TRY「トライ」を折り込んでいます。なお、市ホームページ上にも掲載しています。

- ・発行 年4回(夏号6月、秋号9月、冬号12月、春号3月の各15日)
- ・部数 120, 600部(29年春号)
- ・規格 A4判(24P)
- ・配付方法 自治会等を通して各世帯。また、市内(外)駅、市内公共施設、市内郵便局、市内農業協働組合に配置

主な掲載記事

発行月日	主な記事	発行月日	主な記事
6/15 No.1335 (夏号)	◇まちは楽しい宝島 水郷こしがやに 出会う ◇特集 越谷の企業経営と創業を支援する ◇特集 私たちの未来は、私たちの1票から ◇ときめきインタビュー 尼僧プロレスラー 零有希さん ◇イベントガイド 7月～9月のサンシティ、科学技術体験センター、児童館コスモス・ヒマワリ、老人福祉センターけやき荘・くすのき荘・ゆりのき荘・ひのき荘、越谷市民プールの催し ◇こしがや行事予定 7月～9月の主な行事予定	12/15 No.1343 (冬号)	◇まちは楽しい宝島 冬が旬の赤い宝石！ 越谷のイチゴを食べよう♪ ◇特集 協働のまちづくりの拠点 市民活動支援センター「ななサポこしがや」に行ってみよう ◇特集 プラットさんが行く ぶらっとこしがや～越谷の魅力を見つけに行こう～ ◇ときめきインタビュー 画家 高橋大輔さん ◇イベントガイド 1月～3月のサンシティ、科学技術体験センター、児童館コスモス・ヒマワリ、老人福祉センターけやき荘・くすのき荘・ゆりのき荘・ひのき荘、越谷市民プールの催し ◇こしがや行事予定 1月～3月の主な行事予定
9/15 No.1339 (秋号)	◇まちは楽しい宝島 平成28年度こしがやブランド認定品を決定 ◇トピック 江戸時代からの伝統を今に 越ヶ谷秋まつりを4年ぶりに開催 ◇トピック ガーヤちゃんが案内！ 宮内庁埼玉鴨場を探訪しよう ◇特集 命を守るリボン運動 ◇ときめきインタビュー 「凜として時雨」ドラマス ピエール中野さん ◇イベントガイド 10月～12月のサンシティ、科学技術体験センター、児童館コスモス・ヒマワリ、老人福祉センターけやき荘・くすのき荘・ゆりのき荘・ひのき荘、越谷市民プールの催し ◇こしがや行事予定 10月～12月の主な行事予定	3/15 No.1347 (春号)	◇まちは楽しい宝島 開館30周年 児童館コスモス ◇特集 高齢者が地域で安心して暮らしていくために ◇トピック 越谷のHOTな情報がいっぱい！ こしがやエフエムを聴いてみよう！ ◇特集 越谷市のまちづくりを支える 公共交通を考えよう ◇ときめきインタビュー オペラ歌手(ソプラノ) 小川里美さん ◇イベントガイド 4月～6月のサンシティ、科学技術体験センター、児童館コスモス・ヒマワリ、老人福祉センターけやき荘・くすのき荘・ゆりのき荘・ひのき荘、越谷市民プールの催し ◇こしがや行事予定 4月～6月の主な行事予定

【別紙 8】

5 平成28年度テレビ広報番組「いきいき越谷」の放送内容

テレビ広報番組「いきいき越谷」は、市の主要施策、各種イベント、公共施設等の紹介など、関係者へのインタビューやリポーターによる現地取材を交えて、分かりやすく親しみやすい30分の広報番組として毎月制作し放送しています。

- ・放送時間 30分間
- ・放送媒体及び放送日時
テレビ埼玉 毎月第3土曜・翌日曜日の午前9時30分～

J:COM越谷 テレビ埼玉放送の翌月曜日から日曜日の7日間連続
午前9時～、午後8時～

放送月	放送内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ◇市政ニュース:平成28年度の主な事業 ◇特集:鉄道ファンと行く!越谷貨物ターミナル駅探検ツアー ◇まちかどズームアップ:こしぐるWalker ◇越谷トピックス:ゴールデンウィークのイベント(5月3日～6日) ・児童館コスモス・ヒマワリ、科学技術体験センター ミラクル
5月	<ul style="list-style-type: none"> ◇こしがやニュース:東埼玉資源環境組合設立50周年及び第二工場ごみ処理施設竣工の記念式典/越谷市役所の公式LINEアカウントを開設 ◇特集:越谷ものづくり企業 未来を創る技術 ◇まちかどズームアップ:地域子育て支援センターぽかぽか ◇イベント情報:第21回歯科健康フェア(6月5日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ◇こしがやニュース:ハロー・ハッピーFM868開局イベント/知っておこう熱中症 ◇特集:分ければ資源!越谷市のリサイクル事業 ◇まちかどズームアップ:星奈津美選手の激励会 ◇イベント情報:ほっと越谷第15回七夕フェスタ(7月2日～10日)

放送月	放送内容
7月	◇こしがやニュース:蚊が媒介する感染症に気をつけよう／あだたら高原少年自然の家に出かけよう ◇特集:こしぶら散歩 ◇イベント情報:越谷花火大会(7月30日)
8月	◇こしがやニュース:認知症サポーター養成講座 ◇特集:こしがやブランド認定品 ◇番組からのお知らせ:視聴者のみなさんから動画を大募集! ◇イベント情報:こしがや薪能(9月17日)
9月	◇こしがやニュース:星奈津美選手と杉町マハウ選手のリオデジャネイロオリンピックでの活躍／第32回南越谷阿波踊りが開催 ◇特集:AEDの使い方を学ぼう ◇まちかどズームアップ:越谷産ブドウの収穫とスイーツづくり体験 ◇イベント情報:越ヶ谷秋まつり(8月19日～21日)
10月	◇こしがやニュース:高齢者インフルエンザ予防接種が始まります／星奈津美選手の越谷市民栄誉賞授与式とリオデジャネイロオリンピック報告会 ◇特集:密着!越谷市職員の仕事～保健所編～ ◇まちかどズームアップ:ハッポちゃん体操 ◇イベント情報:第42回越谷市民まつり(10月23日)
11月	◇こしがやニュース:消防用設備が設置されていない建物の公表を開始します／越谷市民まつりが行われました ◇特集:こしがや歴史探訪 ◇まちかどズームアップC. W. ニコルさんの地球にいいことスクール「こしがやトンボサミット」 ◇イベント情報:サンシティのイルミネーション(11月中旬～29年1月上旬)／産業フェスタ(11月26日・27日)

放送月	放送内容
12月	<p>◇こしがやニュース:マイナンバーカードで証明書のコンビニ交付が利用できません／商工会議所設立記念 第15回こしがや産業フェスタ2016が開催されました</p> <p>◇特集:防ごう! 交通事故</p> <p>◇まちかどズームアップ:第4回宿場まつりが行われました</p> <p>◇越谷いちごタウン情報</p>
1月	<p>◇こしがやニュース:市長に新春インタビュー</p> <p>◇特集:農業に若い力を!</p> <p>◇まちかどズームアップ:平成28年度成人式</p> <p>◇イベント情報:協働フェスタ(1月28日)</p>
2月	<p>◇こしがやニュース:越谷市オリジナル婚姻届をご利用ください／市民税・県民税の申告が始まりました</p> <p>◇特集:こしぶら散歩</p> <p>◇まちかどズームアップ:こしグルWalker</p> <p>◇イベント情報:日光街道越ヶ谷宿春の宿場まつり第5回雛めぐり(2月21日～3月5日)／第23回越谷梅林公園梅まつり(3月4日・5日)</p>
3月	<p>◇こしがやニュース:病児保育室を開設します／市民課 休日窓口の開設日が変わります</p> <p>◇特集:こしぶら散歩／家庭でできる地震への備え</p> <p>◇まちかどズームアップ:越谷市生涯学習フェスティバル</p> <p>◇イベント情報:北越谷桜まつり(3月24日～4月9日)／出羽チューリップコミュニティフェスタ2017(4月9日)</p>

推進会議の意見を受けての市の対応（H28）

【推進会議の意見】	担当課	H29事業予定・意見を受けての考え方等
<p>「自治基本条例の認知」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の児童生徒の保護者にあたる、30代、40代、50代の世代に向けた取り組みが必要。漫画や寸劇などを取り入れるなど、自治基本条例が身近なものとして浸透する必要がある。 ・自治基本条例を浸透させるためには、全庁的に意識付けを行う必要がある。 ・自治基本条例の認知媒体として「広報こしがや」の割合が大きい。「広報こしがや」以外の媒体で、どのように周知をしていくかを考えていく必要がある。 	<p>政策課</p>	<p>【H29事業予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度から引き続き、新採用職員研修のメニューの1つとして研修を実施 ・子ども版パンフレットを増刷（7,500部）、引き続き市内小学校6年生全員に配布し、社会科の授業（公民分野）での活用を依頼予定 ・市内高校生を対象に、意識啓発の取り組みを実施予定 <p>【意見を受けての考え方】</p> <p>自治基本条例を制定してから7年が経過した中、市民の関心の高まりが十分でないと考えられる。</p> <p>自治基本条例が市民の生活とどのように関わっているのかが想像しづらいこと等が、自治基本条例への関心が高まらない一因であると推察される。</p> <p>推進会議からの意見も取り入れながら、若年層へのアプローチなど、新たな取り組みを進めていく。</p>

【別添2】

「参加」を推進するための施策への意見	担当課	H29事業予定・意見を受けての考え方等
「審議会等における女性委員の割合」	人権・男女共同参画推進課	<p>【H29事業予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、審議会の改選時期に合わせて、女性登用について各課に対し個別に働きかけを行う(事前協議) 市民(チャレンジリスト登録者)に審議会委員の公募に関する情報提供を行う予定 審議会等への女性の参画を支援するための講座の開催(男女共同参画支援センター) <p>【意見を受けての考え方】</p> <p>現在、審議会等の公募委員の募集要件は、800字以内としている。さまざまな方からの募集を考慮したうえで、文字数の制限を以内としている。今後、女性委員の登用推進を図るため、募集要項について検討していきたい。</p> <p>また、事前協議等、女性の登用について積極的な働きかけを行っているが、登用率の目標値には未だ届かない状況である。目標値に向けて一層積極的な取り組みを進めていく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 様々な方から応募いただくため、審議会等の公募委員の応募要件を、800字の作文ではなく、応募動機を尊重した、もう少し手軽な応募要件するべきである。 参加を浸透させるためにより工夫をしていく必要がある。 		審議会等所管課
「市長とふれあいミーティング」	広報広聴課	<p>【H29事業予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間10回程度開催予定 <p>【意見を受けての考え方】</p> <p>市長とふれあいミーティングについては、現在、団体等への訪問に力を入れている。参加人数については、訪問先の団体等と調整して決めている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 1回あたりの定員を増やすべきである。 		

【別添2】

<p>「防災訓練の参加者数」</p>	<p>危機管理課 消防本部予防課</p>	<p>【H29事業予定】 ・防災訓練の取組として、地区との協働による総合防災訓練と各単位自治会や合同での地域の防災訓練があり、総合防災訓練については、昭和57年度から継続的に実施しており、今年度は、10月15日（日）に出羽地区との合同総合防災訓練を実施予定 ・地域の防災訓練については、指導や協力などの活動支援を実施予定</p> <p>【意見を受けての考え方】 地域の実情に応じた効果的な訓練内容や参加しやすい環境整備が図れるよう、積極的に活動支援に努めていく。 また、平成28年度に地震体験車を小型化し更新していることから、多くの自治会等の消防訓練に使用することが可能になると考えられる。また、再現地震に東日本大震災、想定首都直下地震及び想定南海地震を追加するとともに、震度5以上で緊急地震速報を鳴動させ、室内に設置した42型ディスプレイで転倒する家具等の映像と連動して地震体験をすることによって、より実践的な地震体験ができるようになったと考えられる。</p>
<p>・防災訓練が有意義なものとして捉えられていない可能性があるため、参加者数を増やすための工夫が必要である。</p> <p>・世代別のアプローチなど色々な案を出していくべきである。</p> <p>・防災訓練のメニューの工夫、また、働いている世代に参加してもらうために何か工夫ができると良い。</p>		
<p>「ボランティア登録者数」</p>	<p>福祉推進課</p>	<p>【H29事業予定】 ボランティア活動の推進に係る事業費として、越谷市社会福祉協議会に対し、助成金を交付する。 ・ジュニアボランティアスクール ・青少年ボランティアスクール ・福祉教育活動研修 ・福祉体験学習 ・ボランティア入門講座 ・ボランティア大学 ・ボランティア専門講座</p> <p>【意見を受けての考え方】 社協だよりやホームページ、メール等を活用し、随時、ボランティア依頼等の情報提供を行い、新たな個人ボランティアの登録者として、若い世代や元気な高齢者を活動につなげることができるよう努める。</p>
<p>・参加を浸透させるためにより工夫をしていく必要がある。</p>		

【別添2】

「学生議会」	議事課	<p>【H29事業予定】 ・模擬議会は平成22年度から平成24年度、平成26年度、平成28年度と隔年で開催しており、平成29年度の開催予定はない</p> <p>【意見を受けての考え方】 平成30年度に開催することが決まった場合には、開催方法等を検討する。</p>
<p>・若い世代にまちづくりに関心を持ってもらうため、予算面や施策の工夫等、より一層力を入れていただきたい。</p>		

「協働」を推進するための施策への意見	担当課	H29事業予定・意見を受けての考え方等
「地区まちづくり助成金活用事業数」	市民活動支援課	<p>【H29事業予定】 ・新規事業12事業、拡充事業11事業を含む426事業を実施予定</p> <p>【意見を受けての考え方】 地区別将来像を実現するため、地区の特色を生かした新規・拡充事業の積極的な提案を呼びかけ、また、既存事業については、達成度など十分に精査し、事業の統廃合も進めている。 一方で、財源確保の一環として、自主財源の確保もお願いしており、コミュニティ推進協議会等の事業の質の向上や活性化に努めている。 今後は、高齢者福祉事業や防災事業など、事業内容を絞った予算の確保などを検討していく。</p>
<p>・事業数が増えない理由が予算上の制限であるのであれば、予算を増やすための何らかの提言をする必要がある。</p>		
「市との協働」	市民活動支援課	<p>【意見を受けての考え方】 市民活動団体の活動は、子育て支援、高齢者福祉、環境など多岐にわたっているが、その相談窓口は、市民活動支援センターおよび市民活動支援課と考えている。今後も、全庁的に協働のまちづくりを進めていく。</p>
<p>・市と協働したいと思った時に、どのような窓口で相談すればいいかということが分からないことがあるため、組織の役割を明確にするべきである。</p>		

【別添2】

<p>「自治会加入世帯数（加入率）」</p>	<p>市民活動支援課</p>	<p>【意見を受けての考え方】 自治会未加入世帯に対する様々な働きかけについては、マンション管理組合からのアプローチとして、平成28年度に越谷市自治会連合会と連携して、マンション管理組合を対象としたコミュニティに関するアンケート調査を行った。 平成29年度についても、引き続き越谷市自治会連合会と連携して、マンション管理組合等からの切り口でコミュニティの実態把握等を進めていく。</p>
<p>・自治会に加入していない、マンションやアパートに長く住んでいる方に、協働に携わってもらい働きかけをしていく必要がある。管理組合や市民活動団体からのアプローチも有効と考える。</p>		

「情報共有」を推進するための施策への意見	担当課	H29事業予定・意見を受けての考え方等
<p>「広報こしがや」</p>	<p>広報広聴課</p>	<p>【H29事業予定】 ・18歳以上の市民5,000人を無作為抽出し、郵送で調査を行う予定</p> <p>【意見を受けての考え方】 平成28年度の調査において、広報こしがや「お知らせ版」、「季刊版」について、「分かりにくい」と答えた方に「どのような点についてそう感じたか」を聞いた。</p>
<p>・世論調査で「わかりにくい」と答えた人に、どの部分がわかりにくかったかを聞くべきである。</p>		

推進会議の意見を受けての市の対応（H29）

【市の施策への意見】

「自治基本条例の認知」	担当課	H30事業予定・意見を受けての考え方等
<ul style="list-style-type: none"> ・市政世論調査の結果を見ると自治基本条例の認知媒体としては「広報こしがや」の割合が大きい、認知度を向上させるため特に注目度の高い一面で自治基本条例をPRする記事を掲載するべきである。 ・市内の小学校と高校で自治基本条例の啓発の取り組みが行われているが、中学校においても、どの中学校の生徒も3年間の在校中に1度は啓発を受けられるよう、市内の中学校15校で、年5校ずつ啓発の取り組みを行うべきである。 ・若年層からの認知度を高めるために例えば寸劇を用いてみる等、より興味を持てるような啓発方法について検討し、取り組んでいくことが必要である。 ・市政世論調査の結果を見ると20代から30代の世代の認知度が低い。学生に対しては既に啓発に取り組んでいるが、20代から30代の世代の認知度を向上させるための取り組みについても考えるべきである。 ・市政世論調査の結果を見ると若年層の認知度が低い。自治基本条例の認知度を底上げしていくため、これからの社会を担っていく子どもへの教育として自治基本条例を啓発していくべきである。 ・市と協働し様々なことに取り組んでいる市民は多数いるが、「自治基本条例」を認識したうえで取り組まれている方は少ないと感じる。自分が実施している取り組みが自治基本条例に繋がっていることを認識できるようアンケートの設問項目の設け方を工夫するべきである。 ・市政世論調査の結果を見ると、市政に参加する方法として「アンケート調査」に関心があると回答した方が多い。このことから、アンケート調査に答えることで自治基本条例について知ることができるよう質問項目を工夫するべきである。 ・小学6年生の授業の中で自治基本条例を取り扱っていただいているが、先生がどれだけ自治基本条例を理解しているかによって子どもに対する教え方も変わってくると思う。子どもたちにより関心を持ってもらうため、学校の先生に対し自治基本条例の理解を深める研修を行うべきである。 ・平成28年度に小学6年生の授業の中で自治基本条例をどれだけ扱ったかを調査したアンケートの集計結果を見ると、各クラスによって自治基本条例を授業で扱う時間数に差があるため、時間数や授業内容について統一した指示を行うべきである。 	<p>政策課</p>	<p>【H30事業予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度からスタートする第5期推進会議において、自治基本条例の普及に関して協議していく予定 ・平成22年度から引き続き、新採用職員研修のメニューの1つとして研修を実施予定 ・子ども版パンフレットを引き続き市内小学校6年生全員に配布し、社会科の授業（公民分野）での活用を依頼予定 ・市内高校生を対象に、意識啓発の取り組みを実施予定 <p>【意見を受けての考え方】</p> <p>市政世論調査の結果、自治基本条例の認知度は依然として低い数値となっている。このことについて、自治基本条例の所管課として、自治基本条例推進会議と一体となり、認知度の向上に向けた取り組みを行っていく必要がある。</p> <p>特に、自治基本条例が制定して再来年で10年目の節目となるため、これを契機とした自治基本条例の周知の方法等について、来年度に検討していく。</p> <p>また、若年層への取り組みについては、従前から市内の小学校、平成28年度からは市内の高校において啓発の取り組みを進めてきたが、推進会議からの意見を参考に、市内の中学校での啓発や、小学校の先生に対しての研修に向けた検討を進めていく。</p>

「参加」を推進するための施策への意見

「審議会等における女性委員の割合」	担当課	H30事業予定・意見を受けての考え方等
<p>・審議会の応募要項において、作文の文字数の基準を設けている審議会もあるが、基準があることで応募の妨げになっているように感じる。より多くの市民から審議会の応募を増やすため、文字数よりも作文の内容を重視し選考するべきである。</p>	<p>人権・男女共同参画推進課</p>	<p>【H30事業予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、審議会等の改選時期に合わせて、女性登用について各課に対し個別に働きかけを行う。 市民（チャレンジリスト登録者）に審議会委員の公募に関する情報提供を行う予定 審議会等への女性の参画を支援するための講座の開催（男女共同参画支援センター） <p>【意見を受けての考え方】</p> <p>現在、審議会等の公募委員の募集要件は、さまざまな方からの募集を考慮したうえで、文字数について一定の基準は設けているものの、以内として作文を提出いただき、その内容をもとに選考している。</p> <p>引き続き、審議会等改選時期の事前協議において、所管課に対し女性の登用について積極的な働きかけを行う。</p>
<p>「市長とふれあいミーティング」</p> <p>・平成27年度と比べ、平成28年度は開催回数と参加人数が減少している。市長と意見交換等ができる貴重な機会であるため、開催回数を増やす、もしくは回数が少なくても参加者数は増えるようなやり方を考えていただきたい。</p>	<p>広報広聴課</p>	<p>【H30事業予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間10回程度開催予定 <p>【意見を受けての考え方】</p> <p>平成28年度は開催回数7回、参加人数56人であったが、29年度は30年1月時点で開催回数5回、参加人数40人である。29年度はあと4回の開催を予定しており、28年度よりも開催回数、参加人数ともに増える見込みである。</p> <p>1回の参加者数を増やすと一人当たりの発言時間が短くなってしまいうため、開催回数を増やすことで市長と直接意見交換をした人数が増えるようPRに努める。</p>

<p>「防災訓練の参加者数」</p>	<p>危機管理課 消防本部予防課</p>	<p>【H30事業予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の実情に応じた効果的な訓練内容や若年層が参加しやすい環境整備が図れるよう、地区との協働による総合防災訓練を実施予定。また、各自治会における防災訓練において、効果的かつ継続的に実施できるよう、積極的に活動支援を実施する。（危機管理課） ・昨年と同様に、危機管理課が企画している防災訓練の活動支援を実施する予定。（消防本部予防課） <p>【意見を受けての考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の出羽地区との合同総合防災訓練において、初めて特殊機材を利用し、実際の火災現場と同じ黒煙が渦巻く現場からの避難を疑似体験する、VR（バーチャルリアリティ）の体験コーナーを設置し、多くの若年層の参加があり、好評を得た。また、中学生が参加しやすい訓練種目を設定し、多くの参加が得られた。今後も、若年層などが参加しやすい環境整備が図れるよう、総合防災訓練の内容を工夫・充実するとともに、地域の防災訓練についても、積極的に活動支援に努めていく。（危機管理課） ・災害の疑似体験をするには地震体験車の活用が有効だと考えられる。平成28年度に更新した地震体験車では東日本大震災の再現地震や、今後発生するおそれのある大地震を想定した再現地震を体験することができる。また、室内に設置された42型ディスプレイで、転倒する家具等の映像が再現地震と連動し、視覚により体験できるほか、震度5以上で緊急地震速報を鳴動させることで聴覚による体験もでき、より実災害に近い疑似体験ができると考えられる。（消防本部予防課）
<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の防災訓練の参加者を増やすために、例えばVR（バーチャルリアリティ）を取り入れる等、災害の疑似体験ができるような取り組みを取り入れるべきである。 		

<p>「学生議会」</p>	<p>議事課</p>	<p>【H30事業予定】 平成22年度から隔年で開催しており、平成30年度は前回と同様に高校生、大学生等を対象に開催する予定。</p> <p>【意見を受けての考え方】 学生からの意見を含めた学生議会の内容等については、これまでも執行部に情報提供するとともに、インターネットによるライブ及び録画中継や会議録を通じて公表しているところであり、議員が、当該学生からの意見を踏まえて一般質問等を行うケースもある。今後においても、若い世代の方々に市政や議会への関心を深めていただけるよう、開かれた議会の推進に引き続き努めていく。</p>
<p>・学生議会では学生から貴重な意見をいただいているが、学生にさらにやりがいを持って参加いただくために、学生議会の中でいただいた意見を一つでも市の施策に反映するべきである。</p>		
<p>「審議会への公募委員の参加状況」</p>	<p>行政管理課</p>	<p>【意見を受けての考え方】 市民への審議会等の周知については、審議会等の運営方針として会議を原則公開とし、会議の開催結果をホームページ等で公表することとしているほか、市民の方々に審議会等への興味を持っていただけるよう、毎年度審議会等ガイドブックを発行することで周知を行っている。そのうえで、審議会等の名称については、それぞれの設置根拠の法令、運営形態、調査・審議する内容等を勘案した名称としているが、審議会等について市民により分かりやすく周知する方法を検討し、審議会等への市民参加の促進を図っていく。</p>
<p>・審議会は市の施策に対して市民が意見することができる貴重な機会であり、その意味や価値を伝えていかなければ参加者は増えないため、市民に分かりやすく周知していくことが必要である。</p> <p>・「審議会」という名前が難しく参加しづらい印象を与えていると思う。例えば「意見交換会」等に名前を変更する等、何をする機関なのか分かりやすくする工夫が必要である。</p>		

「協働」を推進するための施策への意見

		担当課	H30事業予定・意見を受けての考え方等
「市との協働」	<ul style="list-style-type: none"> 市民が市と協働するため窓口で相談してもスムーズな対応がされていないように感じる。協働の窓口となる役割を明確にし、庁内の連携をより促進していくべきである。 	市民活動支援課	【意見を受けての考え方】 協働全般に関する相談は、市民活動支援課および市民活動支援センターが窓口となっている。活動分野が決まっている場合は、各担当課が窓口となる。 市民との協働により、公共分野の活動の拡充が図られ、また、このことは共助社会の形成に重要なことと考えているため、引き続き職員に対する啓発を行っていく。
「行政財産」			【意見を受けての考え方】 行政財産の余剰スペースについては行政財産使用許可や貸付により自動販売機設置スペース等として利活用を図っている。 活用対象となる資産の状況を精査し、活用方策について広くアイデアを募っている事例等があれば、それらも参考にしながら、引き続き自主財源の確保に努めていく。
<ul style="list-style-type: none"> 協働を推進するため、行政財産で空いている土地やスペースをどのように活用するかについて行政側だけで決定していくのではなく新たな試みとして市民からアイデアを募集することも検討するべきである。 		公共施設マネジメント推進課	

「情報共有」を推進するための施策への意見

		担当課	H30事業予定・意見を受けての考え方等
「cityメール配信件数、登録者数」	<ul style="list-style-type: none"> cityメール配信件数、登録者数については年々数値が伸びている。このことについて、自治基本条例を基に市民に対して情報共有が進められている点として市民に周知するべきである。 	広報広聴課	【H30事業予定】 市内転入者や新成人へのチラシの配布、広報紙や市ホームページへの記事掲載などによる周知活動を引き続き行う。
			【意見を受けての考え方】 cityメールは、市の取り組みや催しのお知らせ、緊急時の情報発信など様々な面で活用することができるサービスなので、今後も登録者数の増加に向けて取り組んでいく。